

抗人血球免疫家鷄血清中ニ於ケル所謂第三 異性沈降素並ニ型特異性沈降素ニ關スル 血清學的研究 (第3報)

人唾液ニ於ケル第三異性沈降原及ビ型特異性
沈降原ノ「排出型」「非排出型」並ニソノ遺傳

金澤醫科大學法醫學教室(前主任古畑教授)
(現主任井上教授)

助手 醫學士 吉 川 克 巳

KIKKAWA Katumi

(昭和14年3月29日受附)

(本論文ノ要旨ハ昭和13年4月第23次日本法醫學會總會ニ於テ發表シタ)

内 容 抄 録

余ハ加賀谷ガ山羊ニ於テ產生セシメタル氏ノ所謂第三異性沈降素ト同一義ノモノヲ實驗動物トシテ家鷄ヲ撰ビタル結果容易ニ產生セシムル事ニ成功シタ。本法ニ據レバ該法ニ比シ其免疫操作ニ於テノミナラズ成績結果ニ於テ種々ノ點ニ於テ優レタル長所ヲ有スルモノデアル。此際得タル血清ニヨル沈降反應ニ依レバ、各型O, A, B, AB型ノ人唾液ヲ、沈降反應陽性ヲ示スモノト(排出型)、沈降反應陰性ヲ呈スルモノト(非排出型)ノ2群ニ、容易ニ且ツ明瞭ニ分類スルコトガ出來ル。

本法ニヨリ分類セルモノハ深尾ノ作製セル抗海獺腎臟免疫山羊血清ニヨル所ノ各型人唾液ノ「排出型」、「非排出型」ノ分類成績ト相平行ス。又之ハ型的沈降反應ニ依ル所ノ唾液ニ就テ「排出型」、「非排出型」ノ分類、即チA型、B型、AB型唾液ニ於ケル排出、非排出ノ區別成績ト全ク一致スルコトヲ認メタ。

本研究ニ依リテ明カニサレタ所ニ據レバ、「排出型」唾液ノ第三異性沈降素血清ニ對スル被沈降價ハ、OS型唾液ハ80—620、AS型唾液ハ40—160、BS型唾液ハ

20—80、ABS型唾液ハ20—80ノ間ニ分布シテオシ。A型、B型、AB型唾液ニ於テハ第三異性沈降原ノ排出量ハ大體ニ於テ型的沈降原ノ排出量ト平行スル。

同一人唾液中ニ於ケル第三異性沈降原ノ排出状態ヲ一年有餘ニ亘リ觀察シタル結果ヲ總括スルニ、其排出量ハ每常變化スルコト無ク、又一日中ニ於ケル排出状態ニモ變動ガナイコトガ判明シタ。

乾燥唾液斑ニ於テモ、第三異性沈降原ノ存在ガ證明出來ルコトガ確カメラレタ。

「排出型」、「非排出型」ノ出現頻度ハ検査人員總數381名中、S型：285名(74.80%)、s型：96名(25.20%)デアリ、ソノ出現頻度ハ性別ニ關係ナク、又ABO式、MN式血液型トモ何等關係ガナイ。

尙余ハ47家族、233人ニ就テ其遺傳關係ヲ調査シタルニ、第三異性沈降原ハ「排出型」、「非排出型」トモMendelノ法則ニ從ツテ遺傳スルコトヲ知ツタ。

從ツテ、斯カル「排出型」、「非排出型」ノ遺傳關係ハ之ヲ法醫學上ニ應用シ、親子鑑別ノ參考トスルコトガ出來ル。

目 次

- 第1章 緒 言
- 第2章 實驗材料及ビ方法
- 第1節 實驗材料
- 第2節 實驗方法
- 第3章 O型人唾液ニ於ケル第三異性沈降原ノ排出ニ就テ
- 第1節 O型唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ依ル「排出型」「非排出型」ト抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」「非排出型」トノ比較
- 第2節 O型「排出型」唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清並ニ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對スル被沈降價ノ比較
- 第4章 A型人唾液ニ於ケル第三異性沈降原並ニA型特異性沈降原ノ排出ニ就テ
- 第1節 A型唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ依ル「排出型」「非排出型」ト抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」「非排出型」トノ比較
- 第2節 第三異性沈降原ノ「排出型」「非排出型」トA型特異性沈降原ノ「排出型」「非排出型」トノ關係
- 第3節 A型「排出型」唾液ノ第三異性沈降素血清(抗O型人血球免疫家鶏血清及ビ抗海狸腎臟免疫山羊血清)並ニ抗A沈降素血清(家鶏及ビ家兎免疫ニヨル)ニ對スル被沈降素ノ比較
- 第5章 B型人唾液ニ於ケル第三異性沈降原並ニB型特異性沈降原ノ排出ニ就テ
- 第1節 B型唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ依ル「排出型」「非排出型」ト抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」「非排出型」トノ比較
- 第2節 第三異性沈降原ノ「排出型」「非排出型」トB型特異性沈降原ノ「排出型」「非排出型」トノ關係
- 第3節 B型「排出型」唾液ノ第三異性沈降素血清(抗O型人血球免疫家鶏血清及ビ抗海狸腎臟免疫山羊血清)並ニ抗B沈降素血清(家鶏及ビ家兎免疫ニヨル)ニ對スル被沈降價ノ比較
- 第6章 AB型人唾液ニ於ケル第三異性沈降原並ニ型特異性沈降原ノ排出ニ就テ
- 第1節 AB型唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ依ル「排出型」「非排出型」ト抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」「非排出型」トノ比較
- 第2節 第三異性沈降原ノ「排出型」「非排出型」ト型特異性沈降原ノ「排出型」「非排出型」トノ關係
- 第3節 AB型「排出型」唾液ノ第三異性沈降素血清(抗O型人血球免疫家鶏血清及ビ抗海狸腎臟免疫山羊血清)並ニ抗A沈降素血清, 抗B沈降素血清ニ對スル被沈降價ノ比較
- 第7章 同一人ノ唾液ニ就テ第三異性沈降原ノ排出状態ヲ長期ニ亘リ觀察セル實驗成績
- 第8章 一日中ニ於ケル第三異性沈降原ノ排出状態
- 第9章 唾液斑ニヨル「排出型」及ビ「非排出型」ノ檢索
- 第10章 「排出型」「非排出型」ノ出現頻度
- 第1節 檢査材料及ビ方法
- 第2節 檢査成績
- 第1項 「排出型」「非排出型」ノ出現頻度
- 第2項 「排出型」「非排出型」ノ出現頻度ト男女性別トノ關係
- 第3項 「排出型」, 「非排出型」ノ出現頻度トABO式血液型トノ關係
- 第4項 「排出型」, 「非排出型」ノ出現頻度トMN式血液型トノ關係
- 第5項 ABO式及ビMN式ノ各血液型組合セニ於ケル「排出型」, 「非排出型」ノ出現頻度
- 第11章 「排出型」, 「非排出型」ノ遺傳ニ就テ
- 第12章 「排出型」, 「非排出型」ノ法醫學上ノ應用ニ就テ
- 第13章 總括及ビ考按
- 第14章 結 論
- 文 獻

第1章 緒 言

人體諸腺分泌液即チ精液、唾液、膿、鼻等ノ粘液ニ就テ、ソノ有スル型特異性凝集阻止物質ニ依ツテ、之等ヲ血液ト同様、四型ニ分類出來ルコトヲ白井(1924—1926年)ガ初メテ報告シテ以來、此方面ニ關スル研究ハ多クノ學者ニ依リ詳細ニ報告セラレタ。

人唾液ニ關シテハ其後、Yoshida (1928), Cuboni (1928), Greenfield (1928), Brahn u. Schiff (1929), 淺田 (1929), Lehrs (1930), Schiff u. Akune (1931), Akune (1931), 上道及ビ正木(1934), 蔡(1935), 越野(1938)等ノ諸家ニ依リ、型特異性凝集阻止反應、型特異性溶血阻止反應、補體結合反應、沈降反應ヲ用ヒテ研究サレ、該液中ニ型的物質ノ存在スルコトガ明カニサレタ。人唾液中ニ於ケル型特異性物質ノ排出量ニハ個性的ニ著シキ差ガアルト云フコトハ白井、Brahn u. Schiff, Lehrs, Akune 等モ既ニ認メタトコロデアルガ、此問題ニ就キ、多數材料ニヨリ系統的研究ヲ初メテ試ミタノハ Putkonen デアル。氏ハ1930年A型111人、B型54人、AB型32人合計229人ノ唾液ニ就テ、A型質及ビB型質ノ排出量ヲ檢索シ、其中86%ハ型特異性物質ヲ有シ、ソノ反應ハ64倍ヨリ2048倍ノ間ニアルガ、残りノ14%ハ型特異性物質ヲ有シナイト報告シタ。

更ニ、1932年、Schiff u. Sasaki ハ唾液中ニ排出サレル型的物質ノ著シキ個人的差異ニヨツテ、A型、B型、AB型ノ人唾液ヲ「排出型」、「非排出型」ノ二群ニ分ツコトガ出來ルノミナラズ、O型唾液ニ於テモ抗O血清ヲ用フルコトニ依リ、之ヲ「排出型」、「非排出型」ニ分ツコトガ出來ルトナシ、之等ノ頻度ハ「排出型」70%、「非排出型」30%デアルト云ヒ、更ニ50組兩親ノ子女149人ニ就キ實驗ヲ行ヘル結果、此ノ「排出型」及ビ「非排出型」ハ血液型トハ無關係ニ「メンデル」ノ法則ニ從ツテ遺傳スルモノデアリ、排出因子Sハ非排出因子sニ對シテ優性デ、單因子遺傳ヲナスト報告シタ。

ソノ後 Henle (1933)⁽¹⁸⁾、石井(1934)⁽¹⁹⁾、久保及ビ石井(1934)⁽²⁰⁾、Hirszfeld (11234)⁽²¹⁾、野村(1934)⁽²²⁾、陳(1935)⁽²³⁾、永井(1935)⁽²⁴⁾、鈴木(1936)⁽²⁵⁾等ノ諸家ハ之ヲ追試實驗シ、A型、B型、AB型唾液ニ關シテハ皆一致シタ成績ヲ得タ。又1936年深尾⁽²⁶⁾ハ型の沈降反應ヲ應用シテ、A型、B型、AB型唾液ヲ「排出型」、「非排出型」ニ簡便容易ニ分類シ得ル方法ヲ發表シテ「排出型」、「非排出型」判定ノ上ニ新方法ヲ推賞シ。續イテ谷村(1938)⁽²⁷⁾モ之ヲ追試證明シタ。

O型唾液ノ分類ニ關シテハ Schiff u. Sasaki (1932)、Sasaki(1932)ハ牛血清ノ特ニO型人血球ニ高イ凝集素價ヲ有スルモノ、或ハ人血球O、A、B型何レニモ等シク相當高イ凝集素價ヲ有スルモノヲ、AB型人血球ニテ吸着シテ抗O血清ヲ作り、之ニ依ツテO型唾液ヲ「排出型」、「非排出型」ニ分チ得ルト唱ヘタノデアアルガ、ソノ後 Henle 石井、鈴木等ハ之ヲ追試シタガ、適當ナル牛血清ガ得ラレナカツタメカ、Schiff u. Sasaki ノ云フ様ナ成績ハ得ラレナカツタ。又石井、鈴木ハ鰻血清ヲ用ヒテO型唾液ヲ「排出型」、「非排出型」ニ分類セント努力シタガ何レモ成功シナカツタ。

一方、1934年 Schiff⁽²⁸⁾ハ抗志賀赤痢菌免疫山羊血清ヲ用ヒ、又前田(1938)⁽²⁹⁾ハ牛血清ヲ用ヒテ人唾液中ニ含マレテイル異種血球凝集阻止物質ノ多寡ニヨリ、夫々O型唾液ヲ「排出型」、「非排出型」ノ二群ニ分チ得ルト報告シテイル。

然ルニ、第22次及ビ第23次日本法醫學會總會(1937—1938年)ニ於テ、加賀谷及ビ澤井⁽³⁰⁾⁽³¹⁾、内田⁽³¹⁾⁽³²⁾等ハ抗海狸腎臟免疫山羊血清或ハ抗O型人血球免疫山羊血清ヲ用ヒテ、沈降反應並ニ溶血阻止反應ニ依ツテO型唾液ヲモ他型唾液ト同様ニ二群ニ分チ得ルコトヲ發表シ、1938年我教室ノ深尾⁽³⁴⁾ハ之ヲ追試證明シタ。尙最近上山ハ正常並ニ免疫家鶏血清中ニ新沈降素「抗T」ガ含有セラレテイルコトヲ發見シ、該沈降素ニ對スル新沈降原「T」ノ有無ニ依リ、各型ノ人唾液

ヲ二群ニ分類スルコトガ出來ルト云フ興味アル實驗ヲ報告シテキル。

余ハ第1報ニ述ベタル如キ目的ニテ免疫學的研究中、抗人血球免疫家鷄血清ハ各型S型人唾液ト著明ナル沈降反應ヲ呈スルコトヲ發見シタ。此事實ハ、其結果ニ於テ、略時ヲ同ジクシテ學會ニ於テ發表セラレタル加賀谷報告ト其成績結果ニ就テハ相似タルモノデアアルガ免疫方法其他ニ於テ全く相異ナルモノデアアル。其後余ハ尙本法ト同氏法トヲ比較研究シタルニ、此ノ操作ニヨリ産出シタル沈降反應物質ハ所謂第三異性抗體ト偶々一致スルモノナルコトヲ明カニシ得タ。ソノ詳細ハ第2報ニ於テ既ニ述ベタトコロデアアル。

本法ニ據ル分類ハ、A型、B型、AB型唾液ニ於テハ型的沈降反應ニ依ル「排出型」、「非排出型」ノ分類ト完全ニ一致シ、一方ニハ又深尾ノ

作製セル抗海猿腎臟免疫山羊血清ニヨル各型人唾液ノ「排出型」、「非排出型」ノ判定トモ平行スルコトヲ證明シ得タノデアアル。即チ從來主トシテ型物質ニ依ツテナサレタ「排出型」、「非排出型」ナル區別ヲ、型物質ニアラザル、第三異性沈降原ナルーツノ抗原ノ有無ニ依ツテ、人唾液ヲソノ型ノ如何ニカ、ワラズ(從ツテA型、B型、AB型唾液ハ勿論O型唾液ニ於テモ亦)、「排出型」、「非排出型」ノ二群ニ極メテ容易ニ分類スルコトガ出來ルコトヲ證明シ得タノデアアルニ其ガ成績ヲ報告スル。

其大要ニ就テハ既ニ昭和12年4月第23次日本法醫學會總會ニ於テ發表シタコロデアアルガ、茲ニソノ後行ヘル實驗成績並ニ47家族ニ就テ調査セル遺傳關係ヲモ追加シテ詳細ニ報告シ先輩諸賢ノ御批判ヲ仰グ次第デアアル。

第2章 實驗材料及ビ方法

第1節 實驗材料

(1) 人唾液

各型ノ健康人ニ、清水ニテ口中ヲ良ク含嗽サセテ後、自然ニ流出スル唾液ヲ先尖遠心管ニトリ、「ピペット」ヲ強ク攪拌シ、然ル後遠心器ニカケ清澄透明ナ唾液ヲ得。生唾液中ニ存スル破壞物質ノ作用ヲ阻止スルタメ直ニ之ニ1/10量ノ5%石炭酸ヲ加ヘ、之ヲ沈降原液トシタ。

(2) 型特異性免疫沈降素血清

家兔免疫ニ依ル型特異性免疫沈降素血清ハ深尾氏法ニ從ツテ作製セル抗A及ビ抗B沈降素血清ニ、0.5%ノ割ニ石炭酸ヲ加ヘテ氷室ニ貯藏シタモノヲ用フ。抗血清稀釋ハ1%「アラビヤゴム」食鹽水ニテ2倍ニ稀釋シ、使用シタ。

家鷄免疫ニ依ル型特異性免疫沈降素血清ハ既述ノ方法ニ依ツテ得タ抗A型人血球免疫家鷄血清及ビ抗B型人血球免疫家鷄血清ヲO型血球ニテ吸着シテ第三異性沈降素ヲ除去セルモノヲ、1%「アラビヤゴム」食鹽水ニテ2倍稀釋ニシテ使用シタ。

(3) O型人血球免疫家鷄血清

既述ノ方法ニ依リ作製貯藏セルモノヲ1%「アラビヤゴム」食鹽水ニテ2倍ニ稀釋シテ使用シタ。

(4) 抗海猿腎臟免疫山羊血清

深尾博士ガ10%海猿腎臟食鹽水乳劑ヲ20—30cc宛2—3日ノ間隔ヲ置イテ10回注射シテ作製シタモノデ、ソレヲ提供シテ貰ツタ。抗血清ハ原液ヲ使用シタ。

第2節 實驗方法

沈降反應術式

沈降反應ハ沈降反應用毛細試驗管ヲ用ヒ、重層法ニ依リ室温(20°—30°C)ニ於テ行ツタ。

重層後15分以内デ陽性ノモノヲ(++), 30分以内デ陽性ノモノヲ(++), 1時間目ニ陽性ノモノヲ(+), 1時間後反應不明瞭ナレドモ陽性ノモノヲ(±), 全ク陰性ノモノヲ(-)トシタ。

抗原人唾液ノ稀釋ハ生理的食鹽水ニテナシ正常抗人唾液沈降素ニ對スル沈降反應ヲ考慮シテ10倍稀釋ヨリ使用シタ。

第3章 O型人唾液ニ於ケル第三異性沈降原ノ排出ニ就テ

第1節 O型唾液ノ抗O型人血球免疫家鷄血清ニ依ル「排出型」、「非排出型」

ト抗海猿腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」、「非排出型」トノ比較

第1表 抗O型人血球免疫家鷄血清ニ
對スル各O型人唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 56										判 定
唾者 液供 氏給 名	唾液稀 釋倍 數 血液型	1020	20	40	80	160	320	640	1280	K		
森×	OMq	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S	
田×	ONq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
廣×	ONq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
島×	OMNq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
越×	OMNq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
吉×政	OMNQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
市×	ONq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
上×	OMNQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
飯×	ONq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
中×	OMQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
吉×薰	OMq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
辻	OMNq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
笠×	OMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
岩×	OMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
羽×	OMQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
中×	OMNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
穴×	OMQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
中×安	OMNQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
吉×克	ONq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
深×	ONq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
藤×	OMNQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
岩×一	OMNq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
辰×	OMq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
内×	OMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
岩×那	OMQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
的×	OMNQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
清×正	OMNQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
杉×	ONQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
中×鐵	ONq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
丹×	OMq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
陳	OMNq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
大×	OMNQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
山×	OMQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
武	OMNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
井×	ONq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
藤×太	OMq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
谷	OMq	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
清×益	OMq	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
金	ONQ	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
小×	OMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
篠×	OMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
井×正	ONq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
木×	ONQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	

第2表 抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ
對スル各O型人唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 12										判 定
唾者 液供 氏給 名	唾液稀 釋倍 數 血液型	10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
森×	OMq	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S	
田×	ONq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	S	
廣×	ONq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
島×	OMNq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
越×	OMNq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
吉×政	OMNQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
市×	ONq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
上×	OMNQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
飯×	ONq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
中×	OMQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
吉×薰	OMq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
辻	OMNq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
笠×	OMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
岩×	OMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
羽×	OMQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
中×	OMNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
穴×	OMQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
中×安	OMNQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
吉×克	ONq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
深×	ONq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
藤×	OMNQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
岩×一	OMNq	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
辰×	OMq	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
内×	OMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
岩×那	OMQ	##	##	##	##	##	##	##	-	-	S	
的×	OMNQ	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
清×正	OMNQ	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
杉×	ONQ	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
中×鐵	ONq	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
丹×	OMq	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
陳	OMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
大×	OMNQ	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
山×	OMQ	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
武	OMNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
井×	ONq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
藤×太	OMq	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
谷	OMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S	
清×益	OMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S	
金	ONQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S	
小×	OMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
篠×	OMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s	
井×正	ONq	##	##	##	##	##	##	##	##	-	S	
木×	ONQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S	

第1表ニ示ス如ク、抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對スル43例ノO型唾液ノ沈降反應ヲ觀ルニ、陽性ヲ呈スル一群ト陰性ヲ呈スル一群トガアツテ、O型唾液ヲ判然ト二群ニ分ツトガ出來ルノデアアル。而シテ沈降反應陽性ノ一群ハ、其被沈降價ハ80~640ヲ示シテイル。

次ニ之等O型唾液ノ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對スル沈降反應ヲ檢スルニ、抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對シテ沈降反應陰性ヲ示シタル一群、笠×、岩×、羽×、中×、深×、内×、武、井×、小×、篠×ノ各唾液ハ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對シテモ亦沈降反應陰性ヲ示シタガ、抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對シテ沈降反應陽性デアツタ他ノ一群ノ唾液ハ、抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對シテモ亦沈降反應陽性ヲ示シ、ソノ被沈降價ハ40~640デアツタ。

即チ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ依ルO型唾液ノ「排出型」、「非排出型」ノ區別ハ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」、「非排出型」ノ夫ト全ク一致スルコトヲ知ツタ。

第2節 O型「排出型」唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清並ニ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對スル被沈降價ノ比較

33例ノOS型唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清並ニ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對スル被沈降價ヲ比較對照シテ見ルニ第3表ニ示ス如クデアアル。即チ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對シテ高價ノ被沈降價(320~640)ヲ示ス田×、廣×、吉×正、吉×克、辰×、杉×、陳、大×、山×、谷、清×玄ノ各唾液ハ、抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對シテモソノ被沈降價高ク(160~640)抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對シテソノ被沈降價ノ低イ越×、中×安、岩×、木×ノ各唾液ハ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對シテモ其被沈降價ハ低價(40~80)デアアル。

第3表 OS型唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清並ビニ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對スル被沈降價ノ比較

Nr.	血液型	氏名	抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對スル被沈降價	抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對スル被沈降價
1	OMq	森 ×	160	80
2	ONq	田 ×	320	160
3	ONq	廣 ×	320	320
4	OMNq	島 ×	160	80
5	OMNq	越 ×	80	40
6	OMNQ	吉×政	320	160
7	ONq	市 ×	160	80
8	OMNQ	上 ×	160	80
9	ONq	飯 ×	160	80
10	OMQ	中 ×	160	80
11	OMq	吉×薫	160	80
12	OMNq	辻	160	80
13	OMQ	穴 ×	160	160
14	OMNQ	中×安	80	80
15	ONq	吉×克	320	160
16	OMNQ	藤 ×	160	80
17	OMNq	岩×一	80	40
18	OMq	辰 ×	320	320
19	OMQ	岩×邦	160	80
20	OMNQ	的 ×	160	160
21	OMNQ	清×正	160	160
22	ONQ	杉 ×	320	320
23	ONq	中×鐵	160	160
24	OMq	丹 ×	160	160
25	OMNq	陳	320	160
26	OMNQ	大 ×	640	320
27	OMQ	山 ×	320	160
28	OMq	藤×太	160	80
29	OMq	谷	640	640
30	OMq	清×益	320	160
31	ONQ	金	160	80
32	ONq	井×正	160	80
33	ONQ	木 ×	80	80

即チ上記二ツノ抗血清ニ對スル各OS型唾液ノ被沈降價ハ大體ニ於テ相平行スルモノナルコトヲ知ツタ。

第4章 A型人唾液ニ於ケル第三異性沈降原並ニA型特異性沈降原ノ排出ニ就テ

第1節 A型唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ依ル「排出型」、「非排出型」

ト抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」、「非排出型」トノ比較

第4表 抗O型人血球免疫家鶏血清ニ
對スル各A型唾液ノ沈降反應

唾者 液供 氏給 名	唾液 稀釋 倍數 血液型	Nr. 56										判 定
		10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
加×	AMNq	##	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
鈴×	AMNq	##	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
加×亮	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
瀧×	AMNQ	##	##	+	-	-	-	-	-	-	-	S
辻×	AMNQ	##	##	##	##	+	-	-	-	-	-	S
大×	ANq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
北×	AMq	##	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
信×	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
明×	AMNq	##	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
山×五	AMNq	##	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
池×月	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
谷×	ANQ	##	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
北	AMNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
表	AMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
長×	AMQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
赤×	ANq	##	##	##	##	##	+	-	-	-	-	S
村×	AMNq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
生×	AMNq	##	##	##	##	##	##	+	-	-	-	S
山×岸	ANQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
池×秀	AMq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
吉×	AMNq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
石×	AMq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
隅×	AMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
針×	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
太×	AMQ	##	##	##	##	##	##	+	-	-	-	S
田×	AMNQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
藤×	AMNq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
亘×	ANQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
越×	AMq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
中×	ANq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s

30例ノA型唾液ニ就テ、抗O型人血球免疫家
鶏血清ニ對スル沈降反應ヲ檢スルニ、第4表ニ
示ス如ク、反應陽性ノ一群ト陰性ノ一群トアリ、
陽性ヲ呈スル一群ノ唾液ノ被沈降價ハ40~
160ヲ示シテキル。

次ニ之等ノ唾液ノ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ
對スル沈降反應ヲ見ルニ、抗O型人血球免疫家
鶏血清ニ對シテ沈降反應陰性デアツタ加×亮、
越×、池×、北、表、長×、隅×、針×、中×

ノ各唾液ハ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對シテモ
沈降反應陰性デアリ、前者ノ抗血清ニ對シテ陽
性沈降反應ヲ示シタ他ノ一群ノ唾液ハ例外ナク
皆、後者ノ抗血清ニ對シテモ沈降反應陽性デア
ツタ(第5表)。而シテソノ被沈降價ハ40~160

第5表 抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ
對スル各A型唾液ノ沈降反應

唾者 液供 氏給 名	唾液 稀釋 倍數 血液型	Nr. 12										判 定
		10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
加×	AMNq	##	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
鈴×	AMNq	##	##	##	##	##	+	-	-	-	-	S
加×亮	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
瀧×	AMNQ	##	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
辻×	AMNQ	##	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
大×	ANq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
北×	AMq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
信×	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
明×	AMNq	##	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
山×五	AMNq	##	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
池×月	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
谷×	ANQ	##	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
北	AMNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
表	AMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
長×	AMQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
赤×	ANq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
村×	AMNq	##	##	##	##	##	##	+	-	-	-	S
生×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	+	-	-	S
山×岸	ANQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
池×秀	AMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
吉×	AMNq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
石×	AMq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
隅×	AMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
針×	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
太×	AMQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
田×	AMNQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
藤×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
亘×	ANQ	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
越×	AMq	##	##	##	##	##	##	-	-	-	-	S
中×	ANq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s

ヲ示シテキル。即チO型唾液ニ於ケルト同様A
型唾液ニ於テモ、抗O型人血球免疫家鶏血清ニ
依ル「排出型」、「非排出型」ノ判定ト抗海狸腎臟

免疫山羊血清 = 依ル「排出型」, 「非排出型」トノ判定トハ完全ニ一致スルコトヲ知ツタ。

第2節 第三異性沈降原ノ「排出型」, 「非排出型」トA型特異性沈降原ノ「排出型」, 「非排出型」トノ關係

上述ノ如クA型唾液ノ, ニツノ第三異性沈降素血清 = 依ル「排出型」, 「非排出型」ノ判定ハ全く一致スルコトヲ知ツタノデアルガ, 更ニ此第三異性沈降原ノ排出状態ハ型的沈降原ノ排出状

第6表 家鶏免疫 = 依ル抗A沈降素血清 = 對スル各A型唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 49									判定
唾者液氏供給名	唾液稀釋倍數 血液型	10	20	40	80	160	320	640	1280	K	
加×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
鈴×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
加×亮	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
瀧×	AMNQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
辻×	AMNQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
大×	ANq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
北×	AMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
信×	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
明×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
山×五	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
池×月	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
谷×	ANQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
北	AMNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
表	AMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
長×	AMQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
赤×	ANq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
村×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
生×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
山×岸	ANQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
池×秀	AMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
吉×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
石×	AMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
隅×	AMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
針×	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
太×	AMQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
田×	AMNQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
藤×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
亘×	ANQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
越×	AMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
中×	ANq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s

第7表 家兔免疫 = 依ル抗A沈降素血清 = 對スル各A型唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 125									判定
唾者液氏供給名	唾液稀釋倍數 血液型	10	20	40	80	160	320	640	1280	K	
加×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
鈴×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
加×亮	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
瀧×	AMNQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
辻×	AMNQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
大×	ANq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
北×	AMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
信×	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
明×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
山×五	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
池×月	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
谷×	ANQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
北	AMNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
表	AMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
長×	AMQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
赤×	ANq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
村×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
生×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
山×岸	ANQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
池×秀	AMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
吉×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
石×	AMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
隅×	AMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
針×	AMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
太×	AMQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
田×	AMNQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
藤×	AMNq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
亘×	ANQ	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
越×	AMq	##	##	##	##	##	##	##	##	##	S
中×	ANq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s

態ト如何ナル關係ニアルカラ檢スルタメ, 家鶏及ビ家兔免疫ニ依リ得タ抗A沈降素血清ニ對シテ上述30例ノA型唾液ヲ作用サシテ見ルニ, 第三異性沈降素血清ニ對シテ沈降反應陰性ノ加×亮, 越×, 池×, 北, 表, 長×, 隅×, 針×, 中×ノ各唾液ハ家鶏免疫ニ依ル抗A沈降素血清及ビ家兔免疫ニ依ル抗A沈降素血清ニ對シテモ共ニ沈降反應陰性ヲ示シ, 第三異性沈降素血清

ニ對シテ沈降反應陽性ヲ呈シタ他ノ一群ノ唾液ハ何レノ抗A沈降素血清ニ對シテモ亦沈降反應陽性ヲ示シテイル(第6, 7表). 即チA型唾液ニ於テ第三異性沈降原ノ排出型ハ亦A型特異性沈降原ノ排出型デアリ, 第三異性沈降原ノ非排出型ハ亦A型特異性沈降原ノ非排出型デアル. 此ノ事實ハ131例ノA型唾液ニ於テ1例ノ例外モナク證明サレタ.

第3節 A型「排出型」唾液ノ第三異性沈降素血清(抗O型人血球免疫家鶏血清及ビ抗海狸腎臟免疫山羊血清)並ニ抗A沈降素血清(家鶏並ビ家兔免疫ニ依ル)ニ對スル被沈降價ノ比較

AS型唾液21例ノ第三異性沈降素血清ナル抗O型人血球免疫家鶏血清, 抗海狸腎臟免疫山羊血清並ニ抗A沈降素血清(家鶏及ビ家兔免疫ニ依ル)ノ四抗血清ニ對スル被沈降價ヲ比較スルニ第8表ニ示ス如クデアル.

先ヅ一般ニ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對シテ高價ナル被沈降價(160)ヲ示ス唾液ハ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對シテモ大體ソノ被沈降價高ク(80—160)又前者ノ抗血清ニ對シテ被沈降價ノ低イ(40)唾液ハ後者ノ抗血清ニ對シテモ亦低イ被沈降價(40)ヲ示ス關係ハO型唾液ニ於ケルト同様デアル.

上述ノ第三異性沈降素血清ニ對シテ高價ナ被沈降價ヲ示ス唾液ハ抗A沈降素血清ニ對シテモ一般ニソノ被沈降價高ク, 第三異性沈降素血清ニ對シテ被沈降價ノ低イ唾液ハ抗A沈降素血清ニ對シテモ大體ニ於テ其被沈降價ノ低イコトヲ認メル. 即チAS型唾液中ニ於ケル第三異性沈降原及ビA型特異性沈降原ハソノ排出量ニ於テ

第8表 AS型唾液ノ第三異性沈降素血清(抗O型人血球免疫家鶏血清, 抗海狸腎臟免疫山羊血清), 並ビニ抗A沈降素血清(家鶏並ビ家兔免疫ニ依ル)ニ對スル被沈降價ノ比較

Nr.	血液型	氏名	第三異性沈降素血清		抗A沈降素血清	
			抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對スル被沈降價	抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對スル被沈降價	家鶏免疫ニ依ル抗A沈降素血清ニ對スル被沈降價	家兔免疫ニ依ル抗A沈降素血清ニ對スル被沈降價
1	AMNq	加×	160	160	160	320
2	AMNq	鈴×	160	160	160	160
3	AMNQ	瀧×	40	40	40	40
4	AMNQ	辻×	160	40	160	160
5	ANq	大×	40	40	40	80
6	AMq	北×	160	160	640	640
7	AMNq	明×	160	80	80	80
8	AMNq	山×五	160	80	80	80
9	ANQ	谷×	160	80	80	80
10	ANq	赤×	160	40	160	160
11	AMNq	村×	160	80	80	160
12	AMNq	生×	160	80	80	160
13	ANQ	山×岸	160	80	320	320
14	AMq	池×秀	160	160	160	320
15	AMNq	吉×	160	80	80	80
16	AMq	石×	160	80	320	320
17	AMQ	太×	160	80	80	160
18	AMNQ	田×	40	40	160	160
19	AMNq	藤×	160	160	320	320
20	ANQ	亘×	160	80	160	160
21	AMq	越×	80	80	80	80

大體相平行スルモノデアルコトヲ知ツタ. 尙家鶏免疫及ビ家兔免疫ニ依ルニツノ抗A沈降素血清ニ對スルAS型唾液ノ被沈降價モ平行スルコトヲ證明シタ(第8表).

第5章 B型人唾液ニ於ケル第三異性沈降原並ニB型特異性沈降原ノ排出ニ就テ

第1節 B型唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ依ル「排出型」, 「非排出型」ト抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」, 「非排出型」トノ比較

24例ノB型唾液ニ就テ, 抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對スル沈降反應ヲ見ルニ, 沈降反應陰性ヲ呈スル一群ト陽性ヲ呈スル一群トアリ, 陽性ヲ呈スル一群ノ唾液ノ被沈降價ハ20~80デ

アル(第9表).

第9表 抗O型人血球免疫家鶏血清ニ
對スル各B型唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 56									判 定
唾者 液供 給名	唾液稀 釋倍 數 血液型	10	20	40	80	160	320	640	1280	K	
塚×	BMQ	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
日×	BMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
橋×	BMNQ	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
東	BNq	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
西×	BMNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
吉×	BNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
鮎×	BMNq	##	##	+	-	-	-	-	-	-	S
李	BMq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
中×	BMNQ	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
河×	BMNQ	##	##	+	-	-	-	-	-	-	S
下×	BMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
酒×	BNq	##	##	+	-	-	-	-	-	-	S
高×	BNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
石×	BNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
大×	BNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
杉×	BMq	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
加×	BMNQ	##	##	##	+	-	-	-	-	-	S
鈴×	BNq	##	##	+	-	-	-	-	-	-	S
笠×	BNQ	##	##	+	-	-	-	-	-	-	S
尾×	BNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
寺×	BMNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
可×	BMNQ	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
前×	BMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
水×	BMNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S

此等ノ唾液ノ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對スル沈降反應ヲ檢スルニ、第10表ニ示ス如ク、抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對シテ沈降反應陰性ヲ示シタ日×、下×、大×、前×ノ各唾液ハ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對シテモ沈降反應陰性ヲ示シテオリ、前者ノ抗血清ニ對シテ沈降反應陽性ノ他ノ一群ノ唾液ハ後者ノ抗血清ニ對シテモ反應陽性ヲ示ス。即チB型唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ依ル「排出型」、「非排出型」ノ鑑別ハ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」、「非排出型」ノ夫ト完全ニ一致スルコトヲ知ツタ。

第10表 抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ
對スル各B型唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 12									判 定
唾者 液供 給名	唾液稀 釋倍 數 血液型	10	20	40	86	160	320	640	1280	K	
塚×	BMQ	##	##	##	+	-	-	-	-	-	S
日×	BMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
橋×	BMNQ	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
東	BNq	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
西×	BMNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
吉×	BNq	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
鮎×	BMNq	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
李	BMq	##	##	+	-	-	-	-	-	-	S
中×	BMNQ	##	##	+	-	-	-	-	-	-	S
河×	BMNQ	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
下×	BMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
酒×	BNq	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
高×	BNq	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
石×	BNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
大×	BNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
杉×	BMp	##	##	##	+	-	-	-	-	-	S
加×	BMNQ	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
鈴×	BNq	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
笠×	BNQ	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
尾×	BNq	##	##	+	-	-	-	-	-	-	S
寺×	BMNq	##	##	+	-	-	-	-	-	-	S
可×	BMNQ	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
前×	BMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
水×	BMNq	##	##	+	-	-	-	-	-	-	S

第2節 第三異性沈降原ノ「排出型」、
非排出型」トB型特異性沈降原ノ「排出
型」、「非排出型」トノ關係

B型唾液ニ於ケル第三異性沈降原トB型特異性沈降原トノ排出状態ガ如何ナル關係ニアルカヲ檢スルタメ、上述24例ノB型唾液ヲ更ニ、抗B沈降素血清ニ作用サシテ沈降反應ヲ檢スルニ、第9表~12表ヲ比較對照スレバ明カナル如ク、第三異性沈降素血清ニ對シテ沈降反應陰性ノ日×、下×、大×、前×ノ各唾液ハ何レノ抗B沈降素血清ニ對シテモ亦全ク沈降反應陰性デアリ、第三異性沈降素血清ニ對シテ沈降反應陽性ノ他ノ一群ノ唾液ハ、何レノ抗B沈降素血清

第11表 家鷄免疫ニ依ル抗B沈降素血清
ニ對スル各B型唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 53										判 定
唾者 液供 氏給 名	唾液稀 釋倍 數 血液型	人唾液稀釋倍數										
		10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
塚×	BMQ	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
日×	BMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
橋×	BMNQ	++	++	++	++	++	++	-	-	-	-	S
東	BNq	++	++	++	+	-	-	-	-	-	-	S
西×	BMNq	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
吉×	BNq	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
鮎×	BMNq	++	++	++	-	-	-	-	-	-	-	S
李	BMq	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
中×	BMNQ	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
河×	BMNQ	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
下×	BMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
酒×	BNq	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
高×	BNq	++	++	++	++	++	-	-	-	-	-	S
石×	BNq	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
大×	BNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
杉×	BMq	++	++	++	++	++	++	-	-	-	-	S
加×	BMNq	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
鈴×	BNq	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
笠×	BNQ	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
尾×	BNq	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
寺×	BMNq	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
可×	BMNQ	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S
前×	BMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
水×	BMNq	++	++	++	++	+	-	-	-	-	-	S

第12表 家鷄免疫ニ依ル抗B沈降素血清
ニ對スル各B型唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 130										判 定
唾者 液供 氏給 名	唾液稀 釋倍 數 血液型	人唾液稀釋倍數										
		10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
塚×	BMQ	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
日×	BMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
橋×	BMNQ	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
東	BNQ	++	++	++	-	-	-	-	-	-	-	S
西×	BMNq	++	++	++	-	-	-	-	-	-	-	S
吉×	BNq	++	++	++	-	-	-	-	-	-	-	S
鮎×	BMNq	++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	S
李	BMq	++	++	++	+	-	-	-	-	-	-	S
中×	BMNQ	++	++	++	-	-	-	-	-	-	-	S
河×	BMNQ	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
下×	BMq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
酒×	BNq	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
高×	BNq	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
石×	BNq	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
大×	BNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
杉×	BMq	++	++	++	++	++	-	-	-	-	-	S
加×	BMNq	++	++	++	+	-	-	-	-	-	-	S
鈴×	BNq	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
笠×	BNQ	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
尾×	BNq	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
寺×	BMNq	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
可×	BMNQ	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S
前×	BMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
水×	BMNq	++	++	++	++	-	-	-	-	-	-	S

ニ對シテモ亦陽性沈降反應ヲ呈シタ。之ノ事實ハ87例ノB型唾液ニ就テ檢シタルニ1例ノ例外モ認メナカッタ。

即チB型唾液ニ於テモ、A型唾液ニ於ケルト同様、第三異性沈降原ノ排出型ハ亦B型特異性沈降原ノ「排出型」デアリ、第三異性沈降原ノ「非排出型」ハ亦B型特異性沈降原ノ「非排出型」ナルコトヲ證明シ得タ。

第3節 B型「排出型」唾液ノ第三異性沈降素血清 (抗O型人血球免疫家鷄血清及ビ抗海狸腎臟免疫山羊血清) 並ニ抗B沈降素血清 (家鷄及ビ家兔免疫ニ依ル) ニ對スル被沈降價ノ比較

20例ノBS型唾液ノ第三異性沈降素血清ナル抗O型人血球免疫家鷄血清、抗海狸腎臟免疫山羊血清並ニ抗B沈降素血清 (家鷄及ビ家兔免疫ニ依ル) ノ四抗血清ニ對スル被沈降價ヲ比較スルニ、第13表ニ示ス如ク、一般ニ抗O型人血球免疫家鷄血清ニ對シテ高價ナル被沈降價(80)ヲ示セル唾液ハ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對シテモソノ被沈降價高ク(40~80)、又前者ノ抗血清ニ對シテ被沈降價ノ低イ(20~40)、唾液ハ後者ノ抗血清ニ對シテモ被沈降價ハ低イ(20~40)コトヲ認メル。次ニ一般ニ第三異性沈降素血清ニ對シテ高價ナル被沈降價ヲ示ス唾液ハ抗B沈降素血清ニ對シテモ高イ被沈降價ヲ示シ、第三異

第13表 BS型唾液ノ第三異性沈降素血清 (抗O型人血球免疫家鶏血清, 抗海猿腎臟免疫山羊血清) 並ビニ抗A沈降素血清(家鶏並ビニ家兎免疫ニ依ル)ニ對スル被沈降價ノ比較

Nr.	血液型	氏名	第三異性沈降素血清		抗B沈降素血清	
			抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對スル被沈降價	抗海猿腎臟免疫山羊血清ニ對スル被沈降價	家兎ニ依ル抗B沈降素血清ニ對スル被沈降價	家鶏ニ依ル抗B沈降素血清ニ對スル被沈降價
1	BMQ	塚×	40	80	160	80
2	BMNQ	橋×	80	40	320	80
3	BNq	東	20	20	80	40
4	BMNq	西×	40	40	80	40
5	BNq	吉×	40	20	160	40
6	BMNq	鮎×	40	20	40	20
7	BMq	李	40	40	80	80
8	BMNQ	中×	40	40	160	40
9	BMNQ	河×	40	20	160	80
10	BNq	酒×	40	20	160	80
11	BNq	高×	40	20	160	80
12	BNq	石×	40	40	160	80
13	BMq	杉×	80	80	320	160
14	BMNq	加×	80	40	80	80
15	BNq	鈴×	40	20	160	80
16	BNQ	笠×	40	20	160	80
17	BNq	尾×	40	40	160	80
18	BMNq	寺×	40	40	160	80
19	BMNQ	可×	80	40	160	80
20	BMNq	水×	40	40	160	80

性沈降素血清ニ對シテ被沈降價ノ低イ唾液ハ、大體ニ於テ抗B沈降素血清ニ對シテモノノ被沈降價ハ低イ事ヲ認メル。

即チBS型唾液ニ於テモ、AS型唾液ニ於ケルト同様、第三異性沈降原ノ排出量ハB型特異性沈降原ノ排出量ト大體ニ於テ相平行スルコトヲ證明シタ。

第6章 AB型人唾液ニ於ケル第三異性沈降原並ニ型特異性沈降原ノ排出ニ就テ

第1節 AB型唾液ノ抗O型人血球免疫家鶏血清ニ依ル「排出型」, 「非排出型」ト抗海猿腎臟免疫山羊血清ニ依ル

「排出型」, 「非排出型」ト抗海猿腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」, 「非排出型」トノ比較

第14表 抗O型人血球免疫家鶏血清ニ對スル各AB型唾液ノ沈降反應

唾者氏供給名	血液型	Nr. 56								判定
		10	20	40	80	160	320	640	1280	
吉×	ABNq	-	-	-	-	-	-	-	-	S
菊×	ABMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	S
五×	ABNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	S
熊×	ABMq	+++	++	-	-	-	-	-	-	S
舌×	ABMNq	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
柳×	ABMNq	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
塚×	ABMNQ	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
開×	ABMNq	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
松×	ABMNQ	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
宮×	ABMq	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
上×	ABMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	S
藤×	ABMQ	-	-	-	-	-	-	-	-	S
越×	ABMq	+++	++	-	-	-	-	-	-	S
材×	ABMNq	+++	++	+	+	-	-	-	-	S
中×	ABNQ	+++	++	+	-	-	-	-	-	S

第15表 抗海猿腎臟免疫山羊血清ニ對スル各AB型唾液ノ沈降反應

唾者氏供給名	血液型	Nr. 12								判定
		10	20	40	80	160	320	640	1280	
吉×	ABNq	-	-	-	-	-	-	-	-	S
菊×	ABMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	S
五×	ABNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	S
熊×	ABMq	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
舌×	ABMNq	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
柳×	ABMNq	+++	++	+	+	-	-	-	-	S
塚×	ABMNQ	+++	++	+	+	-	-	-	-	S
開×	ABMNq	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
松×	ABMNQ	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
宮×	ABMq	+++	++	+	-	-	-	-	-	S
上×	ABMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	S
藤×	ABMQ	-	-	-	-	-	-	-	-	S
越×	ABMq	+++	++	-	-	-	-	-	-	S
材×	ABMNq	+++	++	+	+	-	-	-	-	S
中×	ABNQ	+++	++	+	-	-	-	-	-	S

15例ノAB型唾液ニ就テ、抗O型人血球免疫家鶏血清及ビ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ對スル沈降反應ヲ觀ルニ、第14表、第15表ヲ比較對照スレバ明カナル如ク、二ツノ抗血清ニ對スル沈降反應陽、陰ノ區別ハ兩者全ク一致スルコトヲ認メル。即チ他型唾液ニ於ケルト同様AB型唾液ニ於テモ、抗O型人血球免疫家鶏血清ニ依ル「排出型」、「非排出型」ノ判定ト抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」、「非排出型」ノソレトハ全ク一致スルコトヲ證明シ得タ。

**第2節 第三異性沈降原ノ「排出型」、
「非排出型」ト型特異性沈降原ノ「排出型」、
「非排出型」トノ關係**

AB型唾液ニ於テ第三異性沈降原ト型特異性沈降原(A及ビB沈降原)ノ排出狀態ガ如何ナル關係ニアルカラ檢スルタメ、上述15例ノAB型唾液ヲ更ニ抗A沈降素血清(家鶏及ビ家兎免疫ニ依ル)並ニ抗B沈降素血清(家鶏及ビ家兎免疫ニ依ル)ニ作用サシテソノ沈降反應ヲ觀ルニ第16、17、18及ビ19表ニ明カナル如ク、第三異性

第17表 家兎免疫ニ依ル抗A沈降素血清ニ對スル各AB型唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 125										判定
唾者氏供給名	血液型	人唾液稀釋倍數										
		10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
吉×	ABNq	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
菊×	ABMNq	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
五×	ABNQ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
熊×	ABMq	+++	+++	++	—	—	—	—	—	—	—	S
舌×	ABMNq	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	—	—	S
柳×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	—	—	S
塚×	ABMNQ	+++	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	—	S
開×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	S
松×	ABMNQ	+++	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	—	S
宮×	ABMq	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	—	—	S
上×	ABMNq	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
藤×	ABMQ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
越×	ABMq	+++	+++	++	—	—	—	—	—	—	—	S
材×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	—	—	S
中×	ABNQ	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	—	—	S

第16表 家鶏免疫ニ依ル抗A沈降素血清ニ對スル各AB型唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 49										判定
唾者氏供給名	血液型	人唾液稀釋倍數										
		10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
吉×	ABNq	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
菊×	ABMNq	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
五×	ABNQ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
熊×	ABMq	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	—	—	S
舌×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	—	S
柳×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	—	S
塚×	ABMNQ	+++	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	—	S
開×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	S
松×	ABMNQ	+++	+++	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	S
宮×	ABMq	+++	+++	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	S
上×	ABMNq	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
藤×	ABMQ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
越×	ABMq	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	—	—	S
材×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	—	S
中×	ABNQ	+++	+++	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	S

第18表 家鶏ニ依ル抗B沈降素血清ニ對スル各AB型唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 53										判定
唾者氏供給名	血液型	人唾液稀釋倍數										
		10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
吉×	ABNq	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
菊×	ABMNq	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
五×	ABNQ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
熊×	ABMq	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	—	—	S
舌×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	—	S
柳×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	—	S
塚×	ABMNQ	+++	+++	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	S
開×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	S
松×	ABMNQ	+++	+++	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	S
宮×	ABMq	+++	+++	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	S
上×	ABMNq	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
藤×	ABMQ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	s
越×	ABMq	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	—	—	S
材×	ABMNq	+++	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	—	S
中×	ABNQ	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	—	—	—	S

第19表 家兔免疫=依ル抗B沈降素血清
=對スル各AB型唾液ノ沈降反應

抗血清番號		Nr. 130									判 定
唾 液 供 給 名	血 液 型	人 唾 液 稀 釋 倍 數									
		10	20	40	80	160	320	640	1280	K	
吉×	ABNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
菊×	ABMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
五×	ABNQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
熊×	ABMq	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
舌×	ABMNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
柳×	ABMNq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
塚×	ABMNQ	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
開×	ABMNq	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
松×	ABMNQ	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
宮×	ABMq	##	##	##	-	-	-	-	-	-	S
上×	ABMNq	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
藤×	ABMQ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
越×	ABMq	##	##	-	-	-	-	-	-	-	S
材×	ABMNq	##	##	##	##	-	-	-	-	-	S
中×	ABNQ	##	##	##	+	-	-	-	-	-	S

沈降素血清=對シテ沈降反應陰性ナル吉×, 菊×, 五×, 上×, 藤×ノ各唾液ハ, 何レノ抗A

沈降素血清並=抗B沈降素血清=對シテモ共=沈降反應陰性デアリ, 第三異性沈降素血清=對シテ沈降反應陽性ノ他ノ一群ノ唾液ハ何レノ抗A沈降素血清並=抗B沈降素血清=對シテモ陽性ノ沈降反應ヲ示シテキル.

即チAB型唾液=於テ第三異性沈降原ノ排出型ハ同時=亦型特異性沈降原(A及ビB沈降原)ノ排出型デアリ, 第三異性沈降原ノ非排出型ハ亦型特異性沈降原ノ非排出型デアルコトヲ證明スルコトガ出來タ.

第3節 AB型「排出型」唾液ノ第三異性沈降素血清(抗O型人血球免疫家鶏血清及ビ抗海狸腎臟免疫山羊血清)並=抗A沈降素血清, 抗B沈降素血清(家鶏及ビ家兔免疫=依ル)=對スル被沈降價ノ比較.

10例ノABS型唾液ノ第三異性沈降素血清(抗O型人血球免疫家鶏血清, 抗海狸腎臟免疫山羊血清)及ビ抗A沈降素血清, 抗B沈降素血清=對スル被沈降價ヲ比較スル=第20表=示ス如ク, 一ツノ抗血清=對シテ高イ被沈降價ヲ示ス唾液ハ大體=於テ, 他ノ五ツノ抗血清=對シテ

第20表 ABS型唾液ノ第三異性沈降素血清(抗O型人血球免疫家鶏血清, 抗海狸腎臟免疫山羊血清)並ビ=抗A沈降素血清, 抗B沈降素血清(家鶏並ビ=家兔免疫=依ル)=對スル被沈降價ノ比較

Nr.	血 液 型	氏 名	第3異性沈降素血清		抗A沈降素血清		抗B沈降素血清	
			抗O型人血球免疫家鶏血清=對スル被沈降價	抗海狸腎臟免疫山羊血清=對スル被沈降價	家兔免疫=依ル抗A沈降素血清=對スル被沈降價	家兔免疫=依ル抗B沈降素血清=對スル被沈降價	家鶏免疫=依ル抗A沈降素血清=對スル被沈降價	家鶏免疫=依ル抗B沈降素血清=對スル被沈降價
1	ABMq	熊×	20	40	80	40	80	20
2	ABMNq	舌×	40	40	160	80	160	40
3	ABMNq	柳×	40	80	160	160	160	40
4	ABMNQ	塚×	40	80	160	160	160	80
5	ABMNq	開×	40	40	320	640	160	80
6	ABMNQ	松×	40	40	160	160	160	40
7	ABMq	宮×	40	40	160	80	160	40
8	ABMq	越×	20	20	80	40	80	20
9	ABMNq	材×	80	80	160	80	160	80
10	ABNQ	中×	40	40	160	80	160	80

モ高イ被沈降價ヲ示シ、一ツノ抗血清ニ對シテ被沈降價ノ低イ唾液ハ大體ニ於テ、他ノ五ツノ抗血清ニ對シテモノノ被沈降價ノ低イコトヲ認メル。

即チ第3異性沈降原ノ排出量ハ一般的ニ型特異性沈降原ノ排出量ト平行スルモノデアルコトヲ知ツタ。

第7章 同一人ノ唾液ニ就テ第三異性沈降原ノ排出状態ヲ長期ニ亘リ觀察セル實驗成績

同一人ノ唾液ニ於ケル第三異性沈降原ノ排出状態ガ時ト共ニ變化シ、或檢査時「排出型」ト判定サレタモノガ次ノ檢査時ニ「非排出型」ト判定サレルコトガアリハシナイカト考ヘテ、同一人ノ唾液(採取直後ニ其唾液中ニ存スル沈降原ノ破壞物質ノ作用ヲ阻止スルタメ毎常其 $\frac{1}{10}$ 量ノ5%石炭酸ヲ混和シタモノ)ニ就テ次ノ如キ實驗ヲ行ツタ。即チ「排出型」ニ屬スルO型唾液

(吉×), A型唾液(越×), B型唾液(寺×), AB型唾液(材×), 「非排出型」ニ屬スルO型唾液(深×), A型唾液(信×), B型唾液(前×), AB型唾液(菊×)ノ各1例ニ就テ、其唾液中ノ第三異性沈降原ノ排出状態ヲ檢索スルコト十數回、一年有餘ニ亘ツテ之ヲ觀察シテ見タ(第21表~第28表)。

第21表 同一人ノO型唾液ヲ長期ニ亘ツテ檢査セル成績

檢査日付	姓名	血液型	抗血清號	人唾液稀釋倍數										判定	
				10	20	40	80	160	320	640	1280	K			
2/XII 1937	吉×	O型	Nr. 65	卅	卅	卅	卅	卅	卅	—	—	—	S		
7/XII 1937				卅	卅	卅	卅	卅	卅	+	—	—	—	〃	
10/I 1938				卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	—	—	—	〃	
10/II 1938				卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	—	—	—	〃	
10/III 1938				卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	—	—	—	〃	
15/IV 1938				卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	—	—	—	〃	
10/VI 1938				卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	—	—	—	〃	
12/VII 1938				卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	—	—	—	〃	
10/X 1938				卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	+	—	—	—	〃
10/I 1939				卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	—	—	—	〃	

第22表 同一人ノO型唾液ヲ長期ニ亘ツテ檢査セル成績

檢査日付	姓名	血液型	抗血清號	人唾液稀釋倍數										判定
				10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
2/XII 1937	深×	O型	Nr. 65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	S	
7/XII 1937				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
10/I 1938				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
10/II 1938				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
10/III 1938				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
15/IV 1938				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
10/VI 1938				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
12/VII 1938				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
10/X 1938				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃
10/I 1938				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〃

第 23 表 同一人ノ A 型唾液ヲ長期ニ亙ツテ検査セル成績

検査日付	姓名	血液型	抗血清 番 號	人 唾 液 稀 釋 倍 數								判 定	
				10	20	40	80	160	320	640	1280		K
2/XII 1937	越 ×	A 型	Nr. 65	卅	卅	卅	卅	+	-	-	-	-	S
7/XII 1937				卅	卅	卅	卅	±	-	-	-	-	〃
10/I 1938				卅	卅	卅	卅	+	-	-	-	-	〃
10/II 1938				卅	卅	卅	卅	-	-	-	-	-	〃
10/III 1938				卅	卅	卅	卅	-	-	-	-	-	〃
15/IV 1938				卅	卅	卅	卅	-	-	-	-	-	〃
10/VI 1938				卅	卅	卅	卅	+	-	-	-	-	〃
12/VII 1938				卅	卅	卅	卅	+	-	-	-	-	〃
10/X 1938				卅	卅	卅	卅	-	-	-	-	-	〃
10/I 1939				卅	卅	卅	卅	+	-	-	-	-	〃

第 24 表 同一人ノ A 型唾液ヲ長期ニ亙ツテ検査セル成績

検査日付	姓名	血液型	抗血清 番 號	人 唾 液 稀 釋 倍 數								判 定	
				10	20	40	80	160	320	640	1280		K
2/XII 1937	信 ×	A 型	Nr. 65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	s
7/XII 1937				-	-	-	-	-	-	-	-	-	〃
10/I 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	〃
15/II 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	〃
10/III 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	〃
20/IV 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	〃
10/VI 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	〃
12/VII 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	〃
10/X 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	〃
10/I 1939				-	-	-	-	-	-	-	-	-	〃

第 25 表 同一人ノ B 型唾液ヲ長期ニ亙ツテ検査セル成績

検査日付	姓名	血液型	抗血清 番 號	人 唾 液 稀 釋 倍 數								判 定
				10	20	40	80	160	320	640	1280	
2/XII 1937	寺 ×	B 型	Nr. 65	卅	卅	卅	+	-	-	-	-	S
7/XII 1937				卅	卅	卅	-	-	-	-	-	〃
10/I 1938				卅	卅	卅	-	-	-	-	-	〃
15/II 1938				卅	卅	卅	+	-	-	-	-	〃
10/III 1938				卅	卅	卅	-	-	-	-	-	〃
20/IV 1938				卅	卅	卅	+	-	-	-	-	〃
10/VI 1938				卅	卅	卅	-	-	-	-	-	〃
12/VII 1938				卅	卅	卅	-	-	-	-	-	〃
10/X 1938				卅	卅	卅	+	-	-	-	-	〃
10/I 1939				卅	卅	卅	+	-	-	-	-	〃

第 26 表 同一人ノ B 型唾液ヲ長期ニ亘ツテ検査セル成績

検査日付	姓名	血液型	抗血清番號	人唾液稀釋倍數										判定
				10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
2/XII 1937	前 ×	B 型	Nr. 65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	S
7/XII 1937				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
10/I 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
15/II 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
10/III 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
20/IV 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
10/VI 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
12/VII 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
10/X 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
10/I 1939				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//

第 27 表 同一人ノ AB 型唾液ヲ長期ニ亘ツテ検査セル成績

検査日付	姓名	血液型	抗血清番號	人唾液稀釋倍數										判定
				10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
2/XII 1937	材 ×	AB 型	Nr. 56	##	##	##	++	-	-	-	-	-	-	S
7/XII 1937				##	##	##	+	-	-	-	-	-	-	//
10/I 1938				##	##	##	-	-	-	-	-	-	-	//
10/II 1938				##	##	##	++	-	-	-	-	-	-	//
10/III 1938				##	##	##	+	-	-	-	-	-	-	//
15/IV 1938				##	##	##	+	-	-	-	-	-	-	//
10/VI 1938				##	##	##	+	-	-	-	-	-	-	//
12/VII 1938				##	##	##	+	-	-	-	-	-	-	//
10/X 1938				##	##	##	+	-	-	-	-	-	-	//
10/I 1938				##	##	##	+	-	-	-	-	-	-	//

第 28 表 同一人ノ AB 型唾液ヲ長期ニ亘ツテ検査セル成績

検査日付	姓名	血液型	抗血清番號	人唾液稀釋倍數										判定
				10	20	40	80	160	320	640	1280	K		
2/XII 1937	菊 ×	AB 型	Nr. 65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	S	
7/XII 1937				-	-	-	-	-	-	-	-	-	//	
10/I 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
15/II 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
10/III 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
20/IV 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
10/VI 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
12/VII 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
10/X 1938				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//
10/I 1939				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	//

然ルニ排出型ニ屬スル吉×(O型), 越×(A型), 寺×(B型), 材×(AB型)ノ各唾液ハ十數回ノ検査時ニ於テ, 第三異性沈降素血清ニ對シテ殆ンド不變同價ノ被沈降價ヲ示シ一度モ非排

出型ノ態度ヲ採ツタコトハナカツタ。又一方非排出型ニ屬スル深×(O型), 信×(A型), 前×(B型), 菊×(AB型)ノ各唾液モ十數回ノ検査時ニ於テ, 第三異性沈降素血清ニ對シ常ニ沈降反

應陰性ヲ呈シ, 一度モ「排出型」ノ態度ヲ採ツタコトハナカツタ。從ツテ第三異性沈降原ノ「排出型」, 「非排出型」ハ永久的恒性ノモノデ, 決シテ變化スルコトガナイモノト考ヘラレル。

第 8 章 1 日中ニ於ケル第三異性沈降原ノ排出状態

尙, 同一人ノ唾液中ニ於ケル第三異性沈降原ノ排出状態ガ一日中ニ於テ, 時間的變化ガアルカ否カラ檢シテ見タ。即チ朝起時, 朝食後, 晝食後, 食間, 就床前ニ採取(其生唾液中ニ存スル沈降原ノ破壊物質ノ作用ヲ阻止スルタメ採取直後ニ 1/10 量ノ 5%石炭酸ヲ混和)セル OS 型(吉×), OS 型(中×), AS 型(越×), BS 型(寺×), ABS 型(材×)ノ各唾液ニ就テ, 其被沈降價ニ變化ガアルカ否カラ檢シタルニ第29表ニ示

ス如ク, 一日中ソノ被沈降價ニハ殆ンド變動ガ無カツタ。

又「非排出型」ノ深×(Os 型), 信×(As 型), 前×(Bs 型)ノ唾液ハ朝食後, 晝食後, 食間ノ何レノ時期ニ於テモ沈降反應ハ全ク陰性デアツタ(第29表)。

要之, 唾液中ニ於ケル第三異性沈降原ノ排出状態ハ一日中殆ンド變動シナイコトヲ知ツタノデアル。

第29表 1 日ノ各時期ニ於ケル第三異性沈降原ノ排出状態

抗血清番號			Nr. 65											
氏名	唾ノ液型	唾採取時	唾液稀釋倍數											
			10	20	40	80	160	320	640	1280	K			
吉×	OS	朝起時	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-
		朝食後	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-
		晝食後	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-
		食間	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-
		就床前	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-
中×	OS	朝起時	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	-
		朝食後	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	-
		晝食後	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	-
		食間	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	-
		就床前	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	-
越×	AS	朝起時	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-
		朝食後	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-
		晝食後	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-
		食間	+++	+++	+++	+++	±	-	-	-	-	-	-	-
		就床前	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-
寺×	BS	朝起時	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-
		朝食後	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-
		晝食後	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-
		食間	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-
		就床前	+++	+++	+++	±	-	-	-	-	-	-	-	-
材×	ABS	朝起時	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-
		朝食後	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-
		晝食後	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-
		食間	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-
		就床前	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-
深×	Os	朝食後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		晝食後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		食間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
信×	As	朝食後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		晝食後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		食間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前×	Bs	朝食後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		晝食後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		食間	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第 9 章 唾液斑ニ依ル「排出型」及ビ「非排出型」ノ檢索

「ガーゼ」及ビ障子紙ヲ 5 cm 平方ニ切り, 之 等ノ各々ニ O 型, A 型, B 型, AB 型ノ「排出型」

或ハ「非排出型」ノ新鮮唾液ヲ 0.5cc 宛滴ラシタモノヲ乾燥セシメテ 保存シタ (各ガーゼ片, 障子紙片ニハ採取年月日及ビ姓名ヲ記シタ標識ヲ附ス).

實驗方法ハ 2.5cc ノ生理的食鹽水 (1/10 容量ノ 5% 石炭酸ヲ加ヘタ) ヲ容レタ 試験管ニ唾液ヲ附着サセテ「ガーゼ」片, 障子紙片ヲ夫々細片ニ切斷シテ投入シ, 3 日間室内ニ放置シ, 其間 2~3 回 2 時間位宛 37°C ノ孵卵器内ニ入レ, 又時々攪拌シテ乾燥唾液ヲ良ク生理的食鹽水中ニ浸出セシメル. 對照トシテ上記ノモノト同質同

大ノ「ガーゼ」片, 障子紙片ノ浸出液ヲ作ル.

次ニ一列ノ小試験管内ニ該浸出液ヲ倍數稀釋シ, 第三異性沈降素血清ニ對スル沈降反應ヲ検査シタ.

其成績ニヨルト「排出型」ニ屬スル吉× (OS型), 越× (AS型), 寺× (BS型), 材× (ABS型) ノ唾液ハ何レモ著明ニ沈降反應陽性ヲ呈シタガ, 非排出型ニ屬スル深× (Os型), 柴× (As型), 前× (Bs型), 菊× (ABs型) ノ各唾液ハ生唾液ト同様, 沈降反應全ク陰性デアツタ.

第 30 表 唾液斑ニ依ル排出型及ビ非排出型ノ検査

姓名	血液型	新鮮唾液ノ「排出型」	檢抗血清	保存期間	唾液斑浸出液ノ稀釋倍數								
					5	10	20	40	80	160	320	640	K
吉×	O	S	Nr. 77	7 日	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-
				50 日	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-
				生唾液	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-
深×	O	s		7 日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				50 日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				生唾液	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越×	A	S		7 日	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-
				50 日	+++	+	-	-	-	-	-	-	-
				生唾液	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
柴×	A	s		7 日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			50 日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			生唾液	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
寺×	B	S	7 日	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	
			50 日	+	±	-	-	-	-	-	-	-	
			生唾液	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	
前×	B	s	7 日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			50 日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			生唾液	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
材×	AB	S	7 日	+++	++	±	-	-	-	-	-	-	
			50 日	+	-	-	-	-	-	-	-	-	
			生唾液	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	
菊×	AB	S	7 日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			50 日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			生唾液	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

保存期間ノ長短ニ關シテ云ヘバ、7日間保存シタモノハ、ソノ被沈降價ハ生唾液ニ比シテ僅カニ減弱シテイル程度デアツタ。50日目間保存シタモノハ、OS型唾液ニ於テハ尙著明ニ沈降反應陽性ヲ呈シソノ被沈降價モ40ヲ示シタガ、ソノ他ノ唾液ハAS型、BS型、ABS型唾液ノ順

ニ段々ソノ被沈降價ガ減弱シテオツタ。

以上ノ實驗成績ニ依リ「排出型」ニ屬スル唾液デアレバ乾燥唾液斑ニ就テモヨクソノ第三異性沈降原ヲ證明スルコトガ出來ルト云フコトガ分ツタ。

第10章 「排出型」, 「非排出型」ノ出現頻度

第1節 検査材料及ビ方法

検査材料ハ金澤市在住民、金澤醫科大學學生ヨリ採取セル唾液ヲ用ヒタ。尙唾液中ニ存スル破壊物質ノ作用ニヨリ第三異性沈降原並ニ型的沈降原ノ破壊ヲ防グタメ、採取直後必ズソノ $\frac{1}{10}$ 量ノ5%石炭酸ヲ加ヘタ。

實驗方法ハ各々ノ唾液ノ10倍稀釋液ヲ作り、第三異性沈降素血清(抗O型人血球免疫家鶏血清)ニ對スル沈降反應ノ陰陽ヲ調べ、陽性ノモノヲ「排出型」、陰性ノモノヲ「非排出型」トシタ。

A型、B型、AB型唾液ニ於テハ第三異性沈降素血清並ニ型的沈降素血清ニ對スル沈降反應ヲ常ニ相並行シテ行ヒソノ「排出型」、「非排出型」ヲ判定シタ。

第2節 検査成績

第1項 「排出型」, 「非排出型」ノ出現頻度

検査セル人員總計381名(其内男子273名、女子108名)ニ於ケル「排出型」、「非排出型」ノ出現頻度ハ第31表ニ示ス如ク、S型285名(74.80%)、s型96名(25.20%)ヲ示シタ。

第31表 排出型、非排出型ノ出現頻度

S 型		s 型		合 計	
實數	%	實數	%	實數	%
285	74.80%	96	25.20%	381	100.00%

第2項 「排出型」, 「非排出型」ノ

出現頻度ト男女性別トノ關係

男女別ニ觀ルト、男子273名中S型199名(72.89%)、s型74名(27.11%)、女子108名中S型81名(75.00%)、s型27名(25.00%)デ、男女

性別ニ依ル出現頻度ノ差ハ認メラレナカツタ(第32表)。

第32表 男女性別ニ依ル排出型、非排出型ノ出現頻度

	男子 ♂			女子 ♀		
	S 型	s 型	合 計	S 型	s 型	合 計
實數	199	74	273	81	27	108
%	72.89%	27.11%	100.00%	75.00%	25.00%	100.00%

第3項 「排出型」, 「非排出型」ノ出現頻度トABO式血液型トノ關係

ABO式血液型トS型、s型ノ出現頻度トノ關係ヲ調べテ見タ。ソノ結果ハ第33表ニ示ス如クデアアル。

第33表 ABO式血液型ト排出型、非排出型トノ關係

血液型	S 型		s 型		合 計	
	實數	%	實數	%	實數	%
O	100	77.51%	29	22.49%	129	100.00%
A	99	75.57%	32	24.43%	131	100.00%
B	61	70.12%	26	29.88%	87	100.00%
AB	25	73.52%	9	26.48%	34	100.00%
合 計	285	74.80%	96	25.20%	381	100.00%

O型デハS型: 77.51% s型: 22.49%

A型デハS型: 75.57% s型: 24.43%

B型デハS型: 70.12% s型: 29.88%

AB型デハS型: 73.52% s型: 26.48%

デ、S型、s型ノ出現頻度ハO型、A型、B型、

AB型ニ於テ何等ノ關係ヲ認メ得ナイ。

第4項 「排出型」, 「非排出型」ノ出現頻度トMN式血液型トノ關係

MN式血液型ヨリS型, s型ノ出現頻度ヲ觀ルニ,

第34表 MN式血液型ト排出型, 非排出型トノ關係

血液型	S 型		s 型		合 計	
	實數	%	實數	%	實數	%
M	65	66.33%	33	33.67%	98	100.00%
N	87	77.67%	25	22.33%	112	100.00%
MN	133	77.77%	38	22.23%	171	100.00%
合 計	285	74.80%	96	25.20%	381	100.00%

M型デハS型: 66.33% s型: 33.67%

N型デハS型: 77.67% s型: 22.33%

MN型デハS型: 77.77% s型: 22.23%

デ, M型ニハ非排出型ガ最モ多イ様デアアルガ, 大體大差ナイ成績デアツタ(第34表)。

第5項 ABO式及ビMN式ノ各血液型組合セニ於ケル「排出型」, 「非排出型」ノ出現頻度

ABO式, MN式ノ各型ヲ組合セテ生ズル合計12型ニ就テ, 其各々ニ於ケルS型, s型ノ出現頻度ヲ檢スルニ, OM型デハS型: 78.78%, s型: 21.22%, ON型デハS型: 78.95%, s型: 21.05%, OMN型デハS型: 75.86%, s型: 24.14%, AM型デハS型: 60.00%, s型: 40.00%, AN型デハS型: 80.00%, s型: 20.00%, AMN型デハS型: 83.93%, s型: 16.07%, BM型デハS型: 58.82%, s型: 41.18%, BN型デハS型: 75.00%, s型: 25.00%, BMN型デハS型: 71.05%, s型: 28.95%, ABM型デハS型: 62.50%, s型: 37.50%, ABN型デハS型: 71.42%, s型: 28.58%, ABMN型デハS型: 78.9%, s型: 21.06%デアリ, S型, s型ノ出現頻度ハO

M, ON, OMN, AM, AN, AMN, AN, AMN, BM, BN, BMN, ABM, ABN, ABMNノ各型ト關係ガ無イ様ニ思ハレル(第35表)。

第35表 ABO式及ビMN式ノ各血液型組合セニ於ケル排出型及ビ非排出型ノ出現頻度

		實數		%		排出型	實數		%	
O	M	S	33	25.58%	S	26	20.16%	78.78%		
		s			s	7	5.43%	21.22%		
	N	S	38	29.46%	S	30	23.25%	78.95%		
		s			s	8	6.20%	21.05%		
	MN	S	58	44.96%	S	44	34.11%	75.86%		
		s			s	14	10.85%	24.14%		
計		129	100.00%	計	129	100.00%				
A	M	S	40	30.53%	S	24	18.33%	60.00%		
		s			s	16	12.21%	40.00%		
	N	S	35	26.72%	S	28	21.37%	80.00%		
		s			s	7	5.34%	20.00%		
	MN	S	56	42.75%	S	47	35.88%	83.93%		
		s			s	9	6.87%	16.07%		
計		131	100.00%	計	131	100.00%				
B	M	S	17	19.54%	S	10	11.50%	58.82%		
		s			s	7	8.04%	41.18%		
	N	S	32	36.78%	S	24	27.58%	75.00%		
		s			s	8	9.19%	25.00%		
	MN	S	38	43.68%	S	27	31.04%	71.05%		
		s			s	11	12.65%	28.95%		
計		87	100.00%	計	87	100.00%				
AB	M	S	8	23.53%	S	5	14.71%	62.50%		
		s			s	3	8.82%	37.50%		
	N	S	7	20.59%	S	5	14.71%	71.42%		
		s			s	2	5.88%	28.58%		
	MN	S	19	55.88%	S	15	44.12%	78.94%		
		s			s	4	11.76%	21.06%		
計		34	100.00%	計	34	100.00%				

第11章 「排出型」, 「非排出型」ノ遺傳ニ就テ

「排出型」, 「非排出型」ノ遺傳ニ就テハ, 最初 Schiff u. Sasahi ハ50家族, 149人ノ子女ニ就

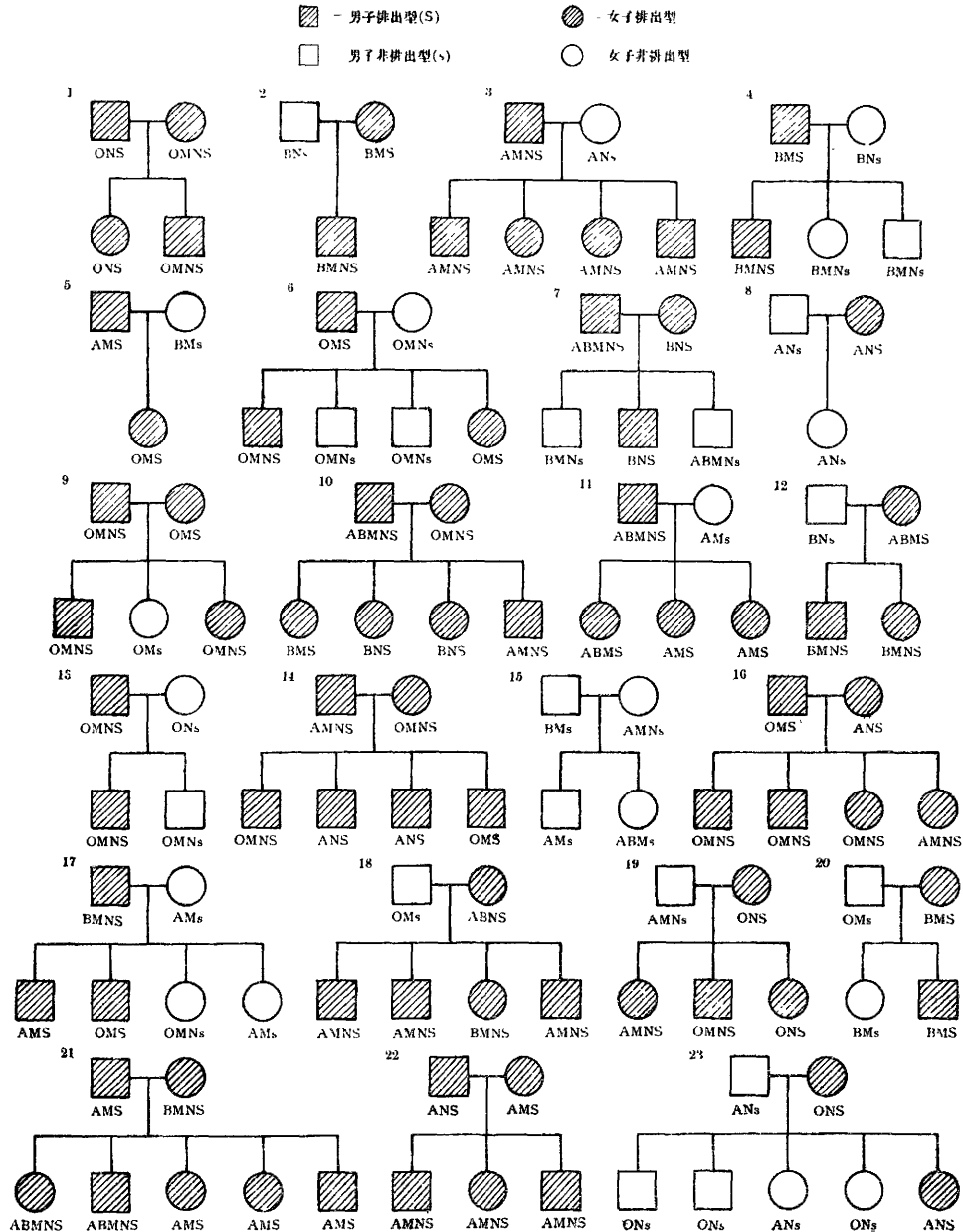
第36表(其1) 排出型, 非排出型ノ家族調査成績

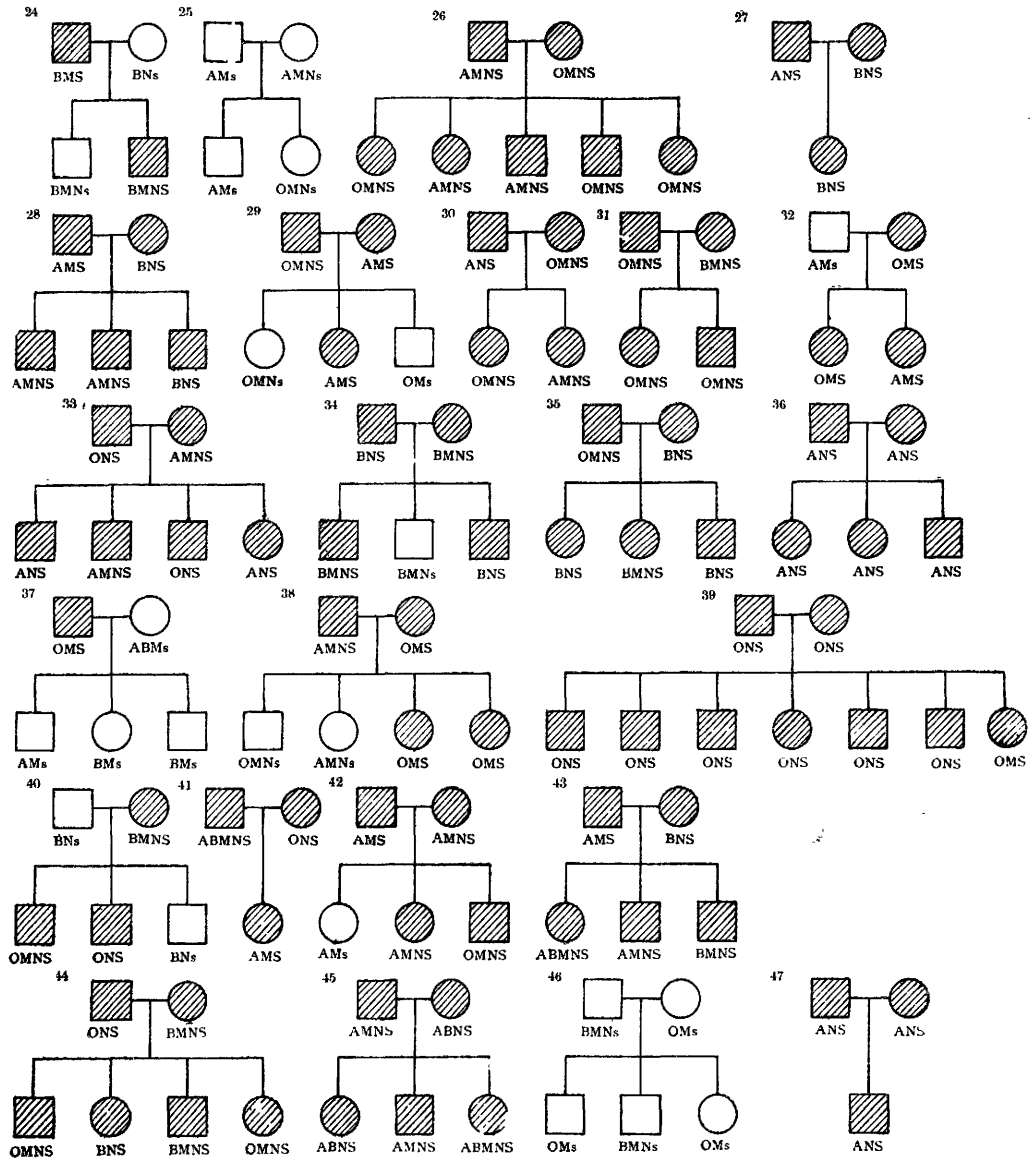
番號	姓名	父	母	子	供
1	吉×	SON	SOMN	1W) SON 2m) SOMN	
2	米×	sRN	SBM	1m) SBMN	
3	村×	SAMN	sAN	1m) SAMN 2W) SAMN 3W) SAMN 4m) SAMN	
4	伊×	SBM	sBN	1m) SBMN 2W) sBMN 3m) sBMN	
5	須×	SAM	sBM	1W) SOM	
6	大×	SOM	sOMN	1m) SOMN 2m) sOMN 3m) sOMN 4W) SOM	
7	吉×種	SABMN	SBN	1m) sBMN 2m) SBN 3m) sABMN	
8	中×	sAN	SAN	1W) sAN	
9	天×	SOMN	SOM	1m) SOMN 2W) sOM 3W) SOMN	
10	河×	SABMN	SOMN	1W) SBM 2W) SBN 3W) SBN 4m) SAMN	
11	材×	SABMN	sAM	1W) SABM 2W) SAM 3W) SAM	
12	角×	sBN	SABM	1m) SBMN 2W) SBMN	
13	中×安	SOMN	sON	1m) SOMN 2m) sOMN	
14	長×	SAMN	SOMN	1m) SOMN 2m) SAN 3m) SAN 4m) SOM	
15	得×	sBM	sAMN	1m) sAM 2W) sABM	
16	中×伊	SOM	SAN	1m) SOMN 2m) SOMN 3W) SOMN 4W) SAMN	
17	松×	SBMN	sAM	1m) SAM 2m) SOM 3W) sOMN 4W) sAM	
18	林×	sOM	SABN	1m) SAMN 2m) SAMN 3W) SBMN 4m) SAMN	
19	岩×	sAMN	SON	1W) SAMN 2m) SOMN 3W) SON	
20	松×	sOM	SBM	1W) sBM 2m) SBM	
21	田×	SAM	SBMN	1W) SABMN 2m) SABMN 3W) SAN 4W) SAM 5m) SAM	
22	笠×	SAN	SAM	1m) SAMN 2W) SAMN 3m) SAMN	
23	新×	sAN	SON	1m) sON 2m) sON 3W) sAN 4W) sON 5W) SAN	
24	長×	SBM	sBN	1m) sBMN 2m) SBMN	
25	松×	sAM	sAMN	1m) sAM 2W) sOMN	
26	島×	SAMN	SOMN	1W) SOMN 2W) SAMN 3m) SAMN 4m) SOMN 5W) SOMN	
27	新×牛	SAN	SBN	1W) SBN	
28	田×	SAM	SBN	1m) SAMN 2m) SAMN 3m) SBMN	
29	牧×	SOMN	SAM	1W) sOMN 2W) SAM 3m) sOM	
30	砂×	SAN	SOMN	1W) SOMN 2W) SAMN	
31	瓜×	SOMN	SBMN	1W) SOMN 2m) SOMN	
32	畠	sAM	SOM	1W) SOM 2W) SAM	
33	西×	SON	SAMN	1m) SAN 2m) SAMN 3m) SON 4W) SAN	
34	成×	SBN	SBMN	1m) SBMN 2m) sBMN 3m) SBN	
35	長谷×	SOMN	SBN	1W) SBN 2W) SBMN 3m) SBN	
36	竹×	SAN	SAN	1W) SAN 2W) SAN 3m) SAN	
37	森×	SOM	sABM	1m) sAM 2W) sBM 3m) sBM	
38	中×治	SAMN	SOM	1m) sOMN 2W) sAMN 3W) SOM 4W) SOM	
39	吉×五	SON	SON	1m)SON 2m)SON 3m)SON 4W)SON 5m)SON 6m)SON 7W)SON	
40	東	sBN	SBMN	1m) SOMN 2m) SON 3m) sBN	
41	場×	SABMN	SON	1W) SAN	
42	北×	SAM	SAMN	1W) sAM 2W) SAMN 3m) SOMN	
43	川×	SAM	SBN	1W) SABMN 2m) SAMN 3m) SBMN	
44	苗×	SON	SBMN	1m) SOMN 2W) SBN 3m) SBMN 4W) SOMN	
45	岡×	SAMN	SABN	1W) SABN 2m) SAMN 3W) SABMN	
46	種×	sBMN	sOM	1m) sOM 2m) sBMN 3W) sOM	
47	谷×	SAN	SAN	1m) SAN	

テ遺傳關係ヲ 調査シ, 「排出型」ノ遺傳ハ Mendel ノ法則ニ從ヒ 排出因子 S ハ非排出因子 s ニ對シテ優性デ單因子遺傳ヲナスト發表シタ. 其後, 久保及ビ石井⁽²⁰⁾, 鈴木⁽²⁸⁾ハ 型特異性凝集

阻止反應ヲ 用ヒ, 又深尾ハ 型的沈降反應ヲ 用ヒ, O 型人ヲ除ケル家族ニ就テ調査シソノ事實ヲ確證シタ. O 型唾液ノ S 型, s 型ノ遺傳ニ就テハ, Schiff u. Sasaki ハ牛血清ヨリ作レル抗 O

第 36 表 (其 2) 47 家族ニ就テ調査セル排出型(S), 非排出型(s)ノ家系圖





血清ヲ以テ、又前田⁽³⁹⁾ハ特殊ノ性狀ヲ有スル牛血清ヲ用ヒ、ソノ遺傳ヲ調べテイル。

余ハ47家族、233人ニ就テ第三異性沈降原ノ「排出型」、「非排出型」ノ遺傳關係ヲ調べタル結果、第三異性沈降原ノ「排出型」、「非排出型」モ亦Mendelノ法則ニ從ツテ遺傳スルモノデアリコトヲ證明シ得タ。茲ニソノ調査成績ヲ報告スル。

調 査 成 績

47家族ニ就テ第三異性沈降原ノ「排出型」、「非排出型」ノ遺傳關係ヲ調査セルニ、
 $S \times S$ ハ26家族、 $S \times s$ ハ18家族、 $s \times s$ ハ3家族デアツタ。今夫等家族ノ個々ノ關係ヲ詳細ニ表示スレバ第36表(其1)、第36表(其2)、第37表、第38表、第39表ノ如クデアル。

第 37 表
S×Sノ組合セ

家族 番號	子 供	
	S	s
1	2	0
7	1	2
9	2	1
10	4	0
14	4	0
16	4	0
21	5	0
22	3	0
26	5	0
27	1	0
28	3	0
29	1	2
30	2	0
31	2	0
33	4	0
34	2	1
35	3	0
36	3	0
38	2	2
39	7	0
41	1	0
42	2	1
43	3	0
44	4	0
45	3	0
47	1	0
計 26家族	74	9

第 38 表
S×sノ組合セ

家族 番號	子 供	
	S	s
2	1	0
3	4	0
4	1	2
5	1	0
6	2	2
8	0	1
11	3	0
12	2	0
13	1	1
17	2	2
18	4	0
19	3	0
20	1	1
23	1	4
24	1	1
32	2	0
37	0	3
40	2	1
計 18家族	31	18

第 39 表
s×sノ組合セ

家族 番號	子 供	
	S	s
15	0	2
25	0	2
46	0	3
計 3家族	0	7

「排出型」, 「非排出型」ノ遺傳關係ヲ理論的ニ考察スルニ, S型ハs型ニ對シテ優性ニ遺傳スル故, 因子型デハS型及ビs型ハ, SS型トSs型及ビss型ヨリ成リ立ツテイル。表現型ニ於テハSS型トSs型トハ共ニS型デアツテ區別出來ナイガ, Ss型ハ遺傳關係ノ調査ニヨツテ大體之ヲ決定スルコトガ出來ル。

兩親ノ各組合セヨリ生レルベキ子供ノ關係ヲ因子型ノ上ヨリ説明スレバ次ノ如クナル。

- I. S×S { 1) SS×SS=SS100%
2) SS×Ss=SS 50%+Ss 50%
3) Ss×Ss=SS 25%+Ss 50%+ss 25%
- II. S×s { 4) SS×ss=Ss 100%
5) Ss×ss=Ss 50%+ss 50%
- III. s×s 6) ss×ss=ss 100%

即チS×Sノ兩親ノ組合セ中ヨリsノ子供ノ生レタ時ハソノ組合セハSs×Ssデアリ, S×sノ間ヨリ生レタS型ノ子供ノ因子型ハ必ズSsデアラネバナラナイ。又S×sノ組合セノ子供ニs型ガ生レタ場合ソノ組合セハSs×ssデアル。

s×sノ組合セカラハ100%ss型ノ子供丈ガ生レル。

47家族ニ就テ調査セルS型, s型ノ出現頻度ハ第40表ニ示ス如ク, S型75.11%, s型24.89%デアツタ。

第40表 47家族ニ於ケルS型, s型ノ出現率

	S 型		s 型		總數
	實數	%	實數	%	
兩 親	70	74.46%	24	25.54%	94
小 供	105	75.54%	34	24.46%	139
	175	75.11%	58	24.89%	233

夫等ノ家族ヨリ生レタ子供ノS型, s型ノ頻度ヲ其兩親ノ組合セニヨツテ分類シテ觀ルト第41表ニ示ス如ク,

第41表 兩親ノ各組合セニ於ケル子供ノ排出型, 非排出型ノ關係

兩 親 ノ 組 合 セ	家族數	子 供				總數
		S		s		
		實數	%	實數	%	
1 S×S	26	74	89.16	9	10.84	83
2 S×s	18	31	63.27	18	36.73	49
3 s×s	3	0		7	100.00	7
計	47	105	77.78	34	22.22	139

1. S×S: 26家族カラハS型74例(89.16%), s型9例(10.84%)計83例ノ子供ガ生レ,

2. S×s: 18家族カラハS型31例(63.27%),

第42表 子供ニ於ケルSS, Ss, ssノ理論的頻度

両親ノ組合セ	組合セノ頻度	子 供 ノ 頻 度		
		SS	Ss	ss
1) SS × SS		p^4		
2) SS × Ss	$4p^3q$	$2p^3q$	$2p^2q$	
3) Ss × Ss	$4p^2q^2$	p^2q^2	$2p^2q^2$	p^2q^2
		$p^4 + 2p^3q + p^2q^2 = p^2$	$2p^2q(p+q) = 2p^2q$	p^2q^2
4) SS × ss	$2p^2q^2$		$2p^2q^2$	
5) Ss × ss	$4pq^3$		$2pq^3$	$2pq^3$
			$2pq^2(p+q) = 2pq^2$	$2pq^3$
6) ss × ss	q^4			q^4

$p+q=1 \quad SS=p^2 \quad Ss=2pq \quad ss=q^2$

s型18例(36.73%)計49例ノ子供ガ生レ,

3. s×s: 3家族カラハs型7例(100%)ノ子供ガ生レテイル.

アラユル両親ノ組合セノ間ニ生レルベキ子供ノ出現頻度ハ第42表ニ示ス如クデア.

非排出型ノ頻度ヲ25%トシテSS, Ss, ssヲ算出スレバss=25%, SS=25%, Ss=50%トナル.

両親ノ各組合セノ間ニ生ラル子供ニツキ, 之等ヨリ算出セル理論數ト實驗ノ觀察數トヲ比較シテ觀ルニ, 第43表ニ明カナル如ク, 非常ニヨク一致シテイルコトヲ認メル.

第43表 47家族ノ子供ニ現ハレルS型及ビs型ノ理論數ト觀察數トノ比較

両親ノ組合セ	家族數	子 供				
			S		s	
			實數	%	實數	%
1 S × S	26	理論數	74	88.89	9	11.11
		觀察數	74	89.16	9	10.84
2 S × s	18	理論數	33	66.67	16	33.33
		觀察數	31	63.27	18	36.73
3 s × s	3	理論數			7	100.00
		觀察數			7	100.00

第12章 「排出型」, 「非排出型」ノ法醫學上ニ於ケル應用ニ就テ

S型ノ遺傳性ヲ利用スルコトニ依リ, 之ガ法醫學的應用價值ハ從來ヨリ認メラレタ所デア. 即チ,

1) 両親ガ共ニ「非排出型」デアレバ「排出型」ノ人ハコノ両親ノ實子デハナイ.

2) 母親ガ「非排出型」デアリ, ソノ子ガ「排出型」ノトキニハ其實父ハ必ズ「排出型」デアラ

ネバナラナイ. ソレ故其子供ハ「排出型」デナイ者ヲ父ニ非ラズトシテ否定スルコトガ出來ル. 而シテ從來ノ型の物質ニ依ル方法デハO型ヲ除カネバナラナイ. 故ニソノ應用範圍モ狭小デアツタノデアルガ, 余ノ方法ヲ以テスレバ凡テノ型ニ應用出來ルモノデア.

第13章 總括及ビ考按

從來唾液ノ「排出型」, 「非排出型」ナル分類ハ主トシテ唾液中ニ排出サレル型特異性物質ノ有

無及ビ其多寡ニ依ツテ, 或ハ型特異性凝集阻止反應, 型特異性溶血阻止反應, 或ハ型特異性沈

降反應ヲ應用シテ分類サレタモノデアアル。ソノ中、O型唾液ニ就テハ、Schiff u. Sasakiハ牛血清ヨリ作製セル抗O血清ヲ用ヒテ、凝集阻止反應ニヨリ之ヲ二群ニ分類出來タト報告シタガ、元來抗O血清ナルモノノ存在ハ、諸家ノ實驗ニ依ツテ否定サレテイル點ヨリ考ヘテ、尙今後ノ研究ニ俟タネバナラナイ。

余ハ既述ノ如ク人唾液中ニ排出(分泌)サレル第三異性沈降原ナルーツノ抗原ガ人唾液中ニ排出サレルカ否カ(乃至多寡)ニ依ツテ、ABO式、或ハMN式血液型トハ何等ノ關係モナク、人ヲ「排出型」ト「非排出型」ノ二群ニ分類スルコトガ出來タノデアアル。

而シテA型、B型、AB型血液ニ於テハ、第三異性沈降原ノ「排出型」ハ同時ニ型的沈降原ノ「排出型」デアリ、第三異性沈降原ノ「非排出型」ハ亦型的沈降原ノ「非排出型」デアリ、更ニ第三異性沈降原ノ排出量ト型的沈降原ノ排出量トハ大體ニ於テ相平行スル傾向ヲ有シテオルコトヲ認メルノデアアル。之ハ人唾液中ニ於テ型特異性凝集阻止物質ノ「排出型」、「非排出型」ト型的沈降原ノ「排出型」、「非排出型」トハ完全ニ一致シ、又型的沈降原ノ「排出型」、「非排出型」ハC沈降原ノ「排出型」、「非排出型」ト一致スル事實ト共ニ、人類ノ血清學的體質上誠ニ興味アルコトデアアル。

第14章 結 論

1. 人唾液ハ、從來云爲セラレテ來タ血液型決定ニ關聯シタ方法ニ據ラズ、血液型トハ全ク別個、無關係ニ、ソノ血液型ノ如何ニカ、ハラズ、其唾腺ヨリ分泌排出サレル第三異性沈降原ノ有無ヲ決定スル方法ニ依リ、從來ノ方法ニ比シ極メテ簡便且ツ正確ニ「排出型」ト「非排出型」ニ區別スルコトガ出來ルモノデアアル。

2. 第三異性沈降素血清ナル抗O型人血球免疫家鶏血清及ビ抗海狸腎臟免疫山羊血清ニ依ル各型人唾液ノ「排出型」、「非排出型」ノ判定成績ハ兩者完全ニ相平行スル。

3. A型、B型、AB型ノ唾液ニ於テハ第三異性沈降原ノ「排出型」、「非排出型」ハ型的沈降原ノ「排出型」、「非排出型」ト完全ニ一致スル。

4. S型唾液ノ第三異性沈降素血清(抗O型人血球免疫家鶏血清)ニ對スル被沈降價ハ、OS型唾液ハ80~640、AS型唾液ハ40×160、BS型唾液ハ20~80、ABS型唾液ハ20~80ノ間ニ分布シテイル。

而シテ、A型、B型、AB型唾液ニ於テハ第三異性沈降原ノ排出量ハ大體ニ於テ型的沈降原ノ排出量ト平行スル。

5. OS型、Os型、AS型、As型、BS型、Bs型、ABS型、ABs型ノ人唾液ニ就テ、同一人唾

液中ノ第三異性沈降原ノ排出状態ヲ一年有餘ニ亘ツテ觀察シタガ、毎常同一不變ノ成績ヲ示シ變化スルコトヲ認メナカッタ。

6. 一日中ニ於ケル第三異性沈降原ノ排出状態ヲ檢索シテ見タガ、殆ンド認ムベキ差異ガ無カッタ。

7. 乾燥唾液斑ニ就テモ本法ニヨリテ第三異性沈降原ノ存在ヲ證明スルコトガ出來ル。

8. 「排出型」、「非排出型」ノ出現頻度ハ檢査人員總數381名中、S型ハ285名(74.80%)、s型ハ96名(25.20%)デアツタ。

9. 男女別ニ見ルト男子273名中S型199名(72.89%)、s型74名(27.11%)、女子108名中S型81名(75.00%)、s型27名(25.00%)デ性別ニ依ルS性、s型ノ出現頻度ノ差ハ認メラレナカッタ。

10. ABO式血液型ニ對スルS型、s型ノ出現頻度ハ、O型デハS型77.51%、s型22.49%、A型デハS型75.57%、s型24.43%、B型デハS型70.12%、s型29.88%、AB型デハS型73.52%、s型26.48%デ、S型、s型ノ出現頻度ハO型、A型、B型、AB型ニ於テ差異ガナイ。

11. MN式血液型ニ對スルS型、s型ノ出現頻度ハ、M型デハS型66.33%、s型33.67%、N型

デハS型77.67%, s型22.33%, MN型デハS型77.77%, s型22.23%デ, S型, s型ノ出現頻度ハMN式血液型トハ關係ガナイ。

12. ABO式, MN式ノ各血液型組合セニ於ケルS型, s型ノ出現頻度ハ, OM型デハS型78.78%, s型21.22%, ON型デハS型78.95%, s型21.05%, OMN型デハS型75.86%, s型24.14%, AMデハS型60.00%, s型40.00%, AN型デハS型80.00%, s型20.00%, AMN型デハS型83.93%, s型16.07%, BM型デハS型58.82%, s型41.18%, BN型デハS型75.00%, s型25.00%, BMN型デハS型71.05%, s型28.95%, ABM型デハS型62.50%, s型37.50%, ABN型デハS型71.42%, s型28.58%, A

BMN型デハS型78.94%, s型21.06%トナリ, S型, s型ノ出現頻度ハOM, ON, OMN, AM, AN, AMN, BM, BN, BMN, ABM, ABN, ABMNノ各型ノ出現頻度?ト關係ガ認メラレス。

13. 第三異性沈降原ノ「排出型」及ビ「非排出型」ハ遺傳形質デアツテ, 「排出型」ハ「非排出型」ニ對シテ優性ニ遺傳スル。

14. 「排出型」及ビ「非排出型」ヲ法醫學上, 個人識別, 親子鑑別等ニ關シ, 重要ナル因子トシテ之ヲ應用スルコトガ出來ル。

15. 兩親共ニ「非排出型」ナルトキハソノ間ニ生レルベキ子供ハ必ズ「非排出型」デアル。

16. 「排出型」ノ人ノ兩親ノ一人ハ必ズ「排出型」デアル。

文 獻

1) 白井三郎, 人類同種血球凝集現象ヨリ觀タル精液ノ個人性ニ就テ。(豫報), 東京醫事新誌, 2376號, 1238頁, 大正13年。2) 同人, 人類同種血球凝集現象ヨリ觀タル唾液ノ個人性ニ就テ。東京醫事新誌, 號, 457頁, 大正14年。3) 同人, 同種血球凝集現象ヨリ觀タル人體諸分泌液ノ個人性ニ就テ。北海道醫學雜誌, 第4年, 1號, 49頁, 大正15年。4) Yosida, Kaniti: Über die gruppenspezifischen Unterschiede der Transsudate, Exsudate, Sekrete, Exkrete, Organextrakte und Organzellen des Menschen und ihre rechtsmedizinischen Anwendungen. Zeitschr. f. ges. exp. Med., Bd. 63, S. 331, 1920。5) Cuboni, E.: Sul Potere antiisomoagglutinante specifico della saliva. Ref. Zbl. f. Bakt., I. Abt. Bd. 91, S. 108, 1928。6) Greenfield, G.: Experimentelle Untersuchungen über gruppenspezifische Antigen und Antikörper. Ztschr. f. Immunitätsf., Bd. 56, S. 107, 1928。7) Brahn, B. u. Schiff, F.: Das chemische Verhalten der serologischen Gruppenstoffe A und B, ihr Vorkommen u. ihr Nachweis in Körperflüssigkeiten. Klin. Wochenschr., Jg. 8, Nr. 33, S. 1523, 1929。8) 淺田一, 人類同種血球凝集現象ヨリ見タル人體諸細胞, 諸

分泌, 諸體腔液ノ個人性ニ就テ。社會醫學雜誌, 515號, 1099頁, 昭和4年。9) Lehrs, H.: Über gruppenspezifischen Eigenschaften des menschlichen Speichels. Ztschr. f. Immunitätsf., Bd. 66, S. 175, 1930。10) Schiff, F. u. Akune, M.: Blutgruppen u. Physiologie. Münch. med. Wochenschr., Jg. 78, S. 657, 1931。11) Akune, M.: Untersuchungen über die beiden Typen der Gruppeneigenschaft A des Menschen. Ztschr. f. Immunitätsf., Bd. 73, S. 75, 1931。12) 上道清一及ビ正木信夫, 人唾液ノ型特異性ニ就テ。十全會雜誌, 39卷, 12號, 3070頁, 昭和9年。13) 蔡國蘭, 人唾液ノ血清學的研究補遺。臺灣醫學雜誌, 34卷, 8號, 1188頁, 昭和10年。14) 越野達郎, 抗人唾液免疫家兔血清ニ於ケル型特異性抗體(特ニ型の沈降素)ノ產生ニ就テ, 人唾液中ニ於ケル型的物質ニ關スル血清學的研究(第1編)。十全會報告, 43春, 12號, 3519頁, 昭和13年12月。15) Putkonen, T.: H. Sasaki 氏論文ヨリ, Über das Vorkommen gruppenspezifischer Eigenschaften im speichel und anderen Körperflüssigkeiten und den Nachweis zweier „Ausscheidungstypen“. Ztschr. f. Immunitätsf., Bd. 77, S. 101, 1932。16) Schiff, F. u. Sasaki, H.: Über die Vererbung

- des serologischen Ausscheidungstypus. Ztschr. f. Immunitätsf., Bd. 77, S. 129, 1932. 17) Schiff, F. u. Sasaki, H.: Der Ausscheidungstypus ein auf serologischen Wege nachweisbares mendelndes Merkmal. Klin. Wochenschr., Jg. 11, No. 34, S. 1426, 1932. 18) Henle, W.: Zur Frage der Ausscheidung von gruppen- und speichelspezifischen Substanzen. Ztschr. f. Immunitätsf., Bd. 80, H. 1/2, S. 171, 1933. 19) 石井清, 唾液ノ排泄型並ニ非排泄型ニ就テ. 北海道醫學雜誌, 12卷, 7號, 1607頁, 昭和9年. 20) 久保忠夫, 石井清, 排出型及ビ非排出型ノ遺傳型式ニ就テ. 北海道醫學雜誌, 12年, 5號, 1088頁, 昭和9年. 21) Hirszfeld, L.: Über den Nachweis der Isoagglutinogene in Körperflüssigkeiten und Organen. Hyg., Bd. 15, S. 132, 1934. 22) 野村捷一, Ausscheider 及 Nichtausscheiderニ就テ. 犯罪學雜誌, 8卷, 6號, 22頁, 昭和9年. 23) 陳增全, 人唾液ノ型質ニ關スル研究補遺(人體各組織ノ型質ニ關スル研究其6). 臺灣醫學雜誌, 34卷, 1號, 116頁, 昭和10年. 24) 永井恒, 唾液ノ分泌型及ビ非分泌型ニ就テ. 京都醫學雜誌, 32卷, 7號, 367頁, 昭和10年. 25) 鈴木壽六, 人唾液ノ排出型並ニ非排出型ニ就テ. 十全會雜誌, 41卷, 3號, 903頁, 昭和11年. 26) 深尾立雄, 型特異性沈降反應ニ關スル研究. (第5報)人唾液ニ於ケル型特異性沈降原ノ「排出型」並ニ「非排出型」ニ就テ. 十全會雜誌, 42卷, 10號, 2913頁, 昭和12年. 27) 谷村吉三, 沈降反應ヨリ見タルS式血液型ニ就テ. 長崎醫學雜誌, 16卷, 5號, 1465頁, 昭和13年. 28) Schiff, F.: Die Diagnose des serologischen Ausscheidungstypus in der Blutgruppen mittels heterogenetischen Immunitätsf., Bd. 82, S. 302, 1934. 29) 前田功, 牛血清ニヨル排出型並ニ非排出型ノ分類ニ就テ. 十全會雜誌, 43卷, 4號, 1333頁, 昭和13年. 30) 加賀谷勇之助, 澤井豊之助, 人血球異性抗體ニヨル沈降反應並ニコレニヨル排泄型, 非排泄型ノ鑑別. 第22次日本法醫學會總會演說要旨, 犯罪學雜誌, 11卷, 4號, 附錄, 75頁, 昭和12年. 31) 内田慎一郎, 人血球異性溶血素ニ對スル阻止反應ニ依ル排出型, 非排出型ノ鑑別. 第22次日本法醫學會總會演說要旨, 犯罪學雜誌, 11卷, 4號, 附錄, 75頁, 昭和12年. 32) 同人, フォルスマン氏抗體ナラザル緬羊血球異性溶血素ニ對スル阻止反應ニヨル排出型, 非排出型ノ鑑別, 同上. 33) 澤井豊之助, 加賀谷勇之助, 人血球免疫山羊血清ニヨル各型人唾液ノ排出型, 非排出型ノ鑑別. 第23次日本法醫學會演說要旨, 犯罪學雜誌, 12卷, 4號, 附錄, 112頁, 昭和3年. 34) 深尾立雄, 抗海獺腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」「非排出型」ニ就テ. 第22次日本法醫學會總會演說要旨, 犯罪學雜誌, 12卷, 4號, 附錄, 89頁, 昭和13年. 35) 上山良治, 非排出型人唾液中ニ發見セル新抗原「T」ニ就イテ. 犯罪學雜誌, 第13卷, 第1號, 51頁, 昭和14年1月. 36) 吉川克巳, 抗人血球免疫家鶏血清中ニ於ケル所謂第三異性沈降素並ニ型特異性沈降素ニ關スル血清學的研究(第1報, 第2報). 十全會雜誌, 43卷, 12號, 3404頁, 3447頁, 昭和13年12月. 37) 同人, 抗人血球免疫家鶏血清ニ對スル沈降反應ニヨル各型人唾液ノ「排出型」「非排出型」ニ就テ. 第23次日本法醫學會總會演說要旨, 犯罪學雜誌, 12卷, 4號, 附錄, 111頁, 昭和13年. 38) 鈴木壽六, 「排出型」及ビ「非排出型」ノ遺傳ニ就テ. 十全會雜誌, 41卷, 9號, 2594頁, 昭和11年9月. 39) 前田功, O型ヲモ含ム排出型, 非排出型ノ遺傳ニ就テ. 十全會雜誌, 43卷, 4號, 1350頁, 昭和13年.